東海大学　大学院

医　学　研　究　科

先端医科学専攻

医　科　学　専　攻

履修の手引

２０２２年度

目　　次

2022 年度東海大学大学院医学研究科学年暦 2

1.　総　説 3
（1）履修科目と修了要件について 4
（2）履修方法について 4
（3）医学部医学科教育補助学生手当の申請について 5
（4）奨学金制度について 7
（5）学生証について 7
（6）学費納入について 7
（7）各種「届・願」について 7
（8）学生健康保険互助組合について 7
（9）健康診断について 7
（１０）大学院掲示板・キャンパスライフエンジン・連絡先について 7
（１１）各種学外教育・研修について 8
各種書類・記入例 11

2. カリキュラム表 17
（1）先端医科学専攻（博士課程） 18
（2）医科学専攻（修士課程） 20

3. 授業時間割表 22
医学研究科　授業時間帯 23
授業時間割表の見方 24
（1）先端医科学専攻（博士課程）時間割表 25
（2）医科学専攻（修士課程）時間割表 26

4.　博士論文（学位申請）について 27

5.　修士論文について 37

2022年度　東海大学大学院・学部学年暦（伊勢原校舎）
医学研究科

（春　学　期）

4月　2日（土）	Welcome Ceremony （入学式） 場所：伊勢校舎
4月　5日（火）	新入生ガイダンス
4月11日（月）	授業開始
5月　2日（月）	休講
8月　1日（月）	授業終了
8月　2日（火）～　9月15日（木）	夏期休暇期間
9月24日（土）	大学院学位授与式（春学期）

（秋　学　期）

9月16日（金）	在学生ガイダンス
9月26日（月）	授業開始
10月31日（月）	建学祭準備のため休講
11月　1日（火）	建学記念日（休講）
11月　2日（水）～3日（木）	建学祭（休講）
11月　4日（金）	建学祭後片付けのため休講
12月27日（火） ～2023年　1月　5日（木）	冬期休暇期間
1月18日（水）	修士論文発表会前日リハーサルのため休講
1月19日（木）	修士論文発表会（休講）
1月27日（金）	水曜日14回目授業振替日
1月31日（火）	木曜日15回目授業振替日
2月　1日（水）	授業終了
2月　2日（木）～3月31日（金）	春期休暇期間
3月24日（金）	大学院学位授与式（秋学期）

※学年暦は変更になる場合があります。

学生生活や修学に関する相談は３号館１階メディカルサイエンスカレッジオフィス（教学ユニット）（以下 MSCO（教学ユニット）と表記）の窓口までご相談ください。

１．　総　　説

（１）履修科目と修了要件について

１）先端医科学専攻（博士課程）

先端医科学専攻において修了要件に必要な単位数は３０単位以上とし、以下のとおり４つの条件を満たして履修すること。

①基盤科目……１０単位

②分野別科目のうち講義科目……８単位

③分野別科目のうち演習または実習科目……８単位以上

④上記３つの条件を満たし、更に基盤科目と分野別科目を併せて合計３０単位以上となるよう履修すること。

⑤がん専門医コース……指定科目から１６単位以上履修すること。

⑥看護学コース……指定科目３つを履修すること（２０２０年度入学生より開講）。

※基盤科目……必ず修得しなければならない科目（必修科目）。

※分野別科目……在籍する専攻で指定された科目のうち、適宜選択できる科目（選択科目）。

ただし、医師免許を有し、かつ２年間の専攻医研修／修了者のみ履修できる科目がある。

２）修士課程（医科学専攻）

修士課程において修了要件に必要な単位数は３０単位以上とし、以下のとおり３つの条件を満たして履修すること。

①医科学研究ゼミナール１・２、医科学研究序論特講（必修科目）……１０単位

②分野別科目……２０単位以上

（境界領域強化科目から１２単位以上）

③合計……３０単位以上

（２）履修登録について

履修登録は、授業科目の履修の意思表示であるため、必ず指定期間内にＷｅｂから登録申請をおこなってください。
履修登録の作業が正しく完了していない場合、当該学期・年度の成績評価がされず、単位が修得できません。

１）先端医科学専攻（博士課程）

各授業科目は、カリキュラム表・授業時間割表（後掲）のとおりである。その中から修了要件を満たすように、履修計画を立て、履修を希望する科目をＷｅｂ履修登録システムにより各自で登録を行う。

※注１　履修にあたっては各科目の時間帯が重複しないように注意すること。また、履修を希望する科目が重複した場合は、登録できません。その場合、必修科目を優先して履修すること。

※注２　内容的には「１」が基本、「２」が応用となっているので、「１」から「２」へ順番に履修すること。ただし「診断学」と「治療学」は「１」は内科系研究、「２」は外科系研究となっており、医師免状を有し、かつ２年間の専攻医研修／修了者のみが履修可となっているので注意すること。

※注３　授業科目の合否は次のとおり成績表に表示される。

評価基準　　Ｓ、Ａ、Ｂ、Ｃ・・・ 合格
Ｅ、／・・・・・・・・・不合格

２）医科学専攻（修士課程）

各授業科目は、カリキュラム表・授業時間割表（後掲）のとおりである。その中から修了要件を満たすように、履修計画を立て、履修を希望する科目をＷｅｂ履修登録システムにより各自で登録を行う。

※注１　医科学研究ゼミナール１・２はいずれも通年科目であるため、１年次に「医学研究ゼミナール１」を、２年次に「医学研究ゼミナール２」と順番に履修すること。（評価は各年次の秋学期に決定される。）

※注２　授業科目の合否は次のとおり成績表に表示される。

評価基準　Ｓ、Ａ、Ｂ、Ｃ、＄・・・合格
Ｅ、／・・・・・・・・・不合格

（３）医学部医学科教育補助学生手当の申請について

本研究科学生であって、博士課程の学生については、伊勢原校舎および付属病院群（含む東京・大磯・八王子病院）において医学部医学科教員の業務（教育・臨床診断・治療・検査等）の補助を行った場合、修士課程の学生については、伊勢原校舎および付属病院群（含む東京・大磯・八王子病院）において医学部医学科教員の業務（教育・検査等）の補助を行った場合、下表のとおり手当を支給する。

なお、本手当は、毎年４月に本人より「医学部医学科教育補助手当申請書」の提出があった者に限り支給し、**専攻医研修/大学院コース及び看護学コースの学生は、本手当の申請はできない。**

該当大学院学生の学年				手当額（月額）
修士課程	博士課程			
研修医を経ず入学した者	研修医を経ず入学した者	研修医を1年間修了後入学した者	研修医を2年間修了以後入学した者	
1・2年	－	－	－	30,000円
－	1年	－	－	50,000円
－	2年	1年	－	70,000円
－	3年	2年	1年	140,000円
－	4年	3年	2年	150,000円
－	－	4年	3年	160,000円
－	－	－	4年	160,000円

（注１）博士課程については、４年を越えて在学する者に対してはそれぞれ４年生と同額とする。
（注２）修士課程については、２年を超えて在学する者に対しては、原則として支給しない。

●「教育支援状況報告書」の提出について

業務状況の確認のため、**本手当受給者は翌月の２日（２日が休日の場合、その前日まで）までに「教育支援状況報告書」を提出すること**
（フォーマットはTokai Information Portal Site（以下：TIPS）内　キャビネット→メディカルサイエンスカレッジオフィス→大学院→医学部医学科教育補助手当　よりダウンロード可）。

記入方法は次ページの見本を参照のこと。やむを得ず提出が遅れる場合は、「遅延理由書」（任意様式）を提出すること。

＜博士課程＞

非常勤医師等、医師としての業務についての記載は行わず、実験・授業の補助など、研究指導教員の指示の下、教育系の業務についてのみ記入すること。また、非常勤医師としての勤務時間帯と重複しないよう、留意すること。

＜修士課程＞

研究指導教員の指示の下、毎月の補助業務時間が**２０時間**を上回るよう、業務を行うこと。

●手当の支給停止について

次の各項に該当する場合、本手当の支給を停止することがある。その際、「医学部医学科教育補助手当辞退届」を提出すること。（フォーマットはTIPS内　キャビネット→メディカルサイエンスカレッジオフィス→大学院→医学部医学科教育補助手当　よりダウンロード可）

(1) 学外教育期間中に、常時他の研究機関等より報酬を受けている場合。
　ただし、その報酬額が当該医学部医学科教育補助手当の１／２未満の場合は本手当を支給する。
(2) 国費留学生として入学・在籍している場合
(3) 留学、休学する場合
(4) 論文再入学の場合
(5)「教育支援状況報告書」が提出されない場合及び業務実態が確認できない場合
(6)その他、医学研究科が支給停止と認めた場合

なお、違反した場合は、手当の返還を求める場合がある。

記入例

医学　　課程　教育支援状況報告書（　　年　　月分）

修士／博士　を記入。

日付	支援時間	時間数	内容
6月	8:00	6.0	卒研生の実験訓練監督
6月 2日(火)	17:00 ～ 19:00	2.0	●●講義TA
6月 4日(木)	15:00 ～ 20:00	5.0	●●先生セミナー受付業務
6月 8日(月)	11:00 ～ 17:00	6.0	●●先生の実験補助（試薬調整）
6月 8日(月)	12:00 ～ 17:30	5.5	医学部中間試験監督補助
6月15日(月)	13:00 ～ 17:30	4.5	模擬論文発表会の補助
6月18日(木)	12:00 ～ 18:00	6.0	卒研生の実験訓練監督
6月19日(金)	11:00 ～ 17:00	6.0	卒研生の実験訓練監督
6月22日(月)	12:00 ～ 18:00	6.0	●●先生の実験補助（試薬調整）
6月24日(水)	12:00 ～ 17:30	5.5	医学部中間試験監督補助
			●●講義TA
			●●講義TA
6月29日(月)	12:00 ～ 18:00	6.0	卒研生の実験訓練監督
6月30日(火)	9:00 ～ 11:00	2.0	卒研生の実験訓練監督
6月30日(火)	12:00 ～ 18:00	6.0	卒研生の実験訓練監督
月　日(　)	: ～ :		
月			
月			
月			
月　日(　)	: ～ :		
月　日(　)	: ～ :		
月　日(　)	: ～ :		
月　日(　)	: ～ :		
月　日(　)	: ～ :		
月　日(　)	: ～ :		
月　日(　)	: ～ :		
月　日(　)	: ～ :		
月　日(　)	: ～ :		
月　日(　)	: ～ :		
支援時間合計		76.5	

記入のポイント①
◆同日でも時間が空く場合は、行を変えること。

記入のポイント②
◆1日の合計時間を記入すること。
0.5H単位

記入のポイント③
◆詳しく記入。
◆教育系の補助業務のみを記入すること。

（博士課程）
◆非常勤医師等、医師としての業務については記入しない。また、医師としての業務日時と重複しないよう留意すること。

記入のポイント④
◆業務合計時間を記入してください。

（修士課程）
◆20時間を下回らないように記入してください。

上記内容に相違ありません

学生証番号　●BMUD○○○

氏　名　東海　太郎　印

指導教員印	教学課確認
印	

（４）奨学金制度について

東海大学および外部の奨学金の募集については、TIPS のキャビネット内にて情報を発信していくため、各自にて閲覧すること。諸手続きについては MSCO（教学ユニット）奨学金担当まで。

（５）学生証について

・学内では学生証は配付したネームフォルダーに入れて常に携帯してください。
・学生証を紛失・破損した場合は、MSCO（教学ユニット）窓口にて再発行の手続きを行ってください。（再発行手数料：２０００円分の証紙を購入）
・学生証は地下通路などの通行の際のセキュリティ認証や図書館・コンピュータ室の利用、また、MSCO（教学ユニット）窓口で学割の発行時にも必要となります。

（６）学費納入について

・在学生の学費納入案内を学費納付者宛てに発送される。
・納入方法は入学時に登録された指定口座より引落しとなります。引落し日は、春学期４月２８日、秋学期１０月２８日を予定。（引落し日については事前に学費納付者へ通知）
また、何らかの理由により納入できない場合は、「学費延納願」（教学ユニット窓口にて配付）を春学期分４月２０日、秋学期分１０月２０日までに、保証人連署のもと提出することで、納入期日を２ヶ月延長することが可能。無届での未納の場合は除籍となる。

（７）各種「届・願」について

・「各種変更届」：住所、保証人、学費納付者等の変更。
・「改姓（改名）届」：戸籍抄本を添えて提出。
・「学費延納願」：納入期日までに学費納入が出来ない場合。
・「学外教育願」：学外にて教育を受ける場合。私費で学外に行く場合も提出すること。
・「証明書交付願」：在学証明、成績証明等各種証明書が必要な場合。窓口で学生証を提示し、発行手数料分の証紙を購入して申し込む。証明書の種類によっては日数が必要なため、確認し申し込むこと。
・「休学願」・「退学願」：研究指導教員と相談後、教学ユニット窓口にて手続きを行うこと。
休学期間については、キャンパスガイドを参照すること。
・「私費留学願・私費留学終了届」：出発の３ヶ月以上前に、教学ユニット窓口へ指定用紙とその他任意用紙による授業計画書、留学受入れ証明、施設概容など、必要書類を揃えて提出すること。大学院は、協定留学はないため、単位認定を受けたい場合は〝私費留学〟として取り扱う。単位認定を希望しない場合は、休学したうえで、留学することとなる。

上記の手続きが必要な場合は随時 MSCO（教学ユニット）窓口へご相談ください。

（８）学生健康保険互助組合について

入学手続き時に納入金と共に組合費を納入しているため、自動的に組合員となっている。傷病一般の診療費が給付の対象となる。医療費の申請手続きは、MSCO（教学ユニット）窓口で行う。

（９）健康診断について

健康推進室より健診受診に関する資料が送られるため、必ず受診すること。

※問合せ先：伊勢原健康推進室（内線４００８）

（１０）大学院掲示板・Tokai Information Portal Site(TIPS)・連絡先について

講義の変更や学位論文申請などの情報は、１号館１階の掲示板（用度管理課の入口横）、及び TIPS にて行うため、各自、必ず確認するように心掛けてください。。
大学に登録した個人情報の内容に変更が生じた場合は、TIPS より変更が可能です。その際は、速やかに手続きをしてください。

大学院に在籍中は大学よりメールアドレスが付与されます。**＜学生証番号@mail.u-tokai.ac.jp＞**
学修に関する内容については、この個人メールアドレスへの連絡を基本としておりますので、大学からの連絡を確実に受信できるように各自にてメインアドレス等への転送設定等の対応すること。

（１１）各種学外教育・研修について

学会出張、他研究機関・病院で研修等を行う場合は、各研究指導教員の許可を得たうえ、該当する事項について、下記のとおり、書類を提出すること。なお、③及び④については、授業に支障がないものについてのみ認める。また、出張・研修期間・受入期間等によっては休学として処置される場合、相手先との協定締結が必要な場合、授業科目の履修が認められない場合等があるので注意し、早めに手続き・準備を進めること。

また、短期間の海外渡航（学会等）は除き、私費留学を予定している場合は手続き方法が異なる。別途、個別指導を行うため、留学開始日の３ヶ月以上前にMSCO（教学ユニット）へ申し出ること。

上記すべての書式は、TIPS内＜キャビネット→メディカルサイエンスカレッジオフィス→大学院→学外教育・出張上申書関係（医学研究科）＞よりダウンロードをし、作成・提出すること。

なお、事後提出は認めない。また、学外教育願及び出張旅費計算書が未提出の場合、旅費、交通費、参加費等の支払いは不可。

事項	提出書類（教学課へ提出）					
	開始前				終了後	
	学外/長期学外教育願	出張旅費計算書	外国出張明細書	付属病院研修願	報告書	研修終了届
①国内学会出張	○	○※1			（○）	
②外国学会出張	○		○※1		○	
③付属東京・大磯・八王子病院での研修				○		○
④他研究機関で長期学外教育	○※2					○

※１旅費・交通費不要の場合は提出不要

※２受入機関で給与が保障されず、本学より給与を支給する場合、受入機関に書類を作成いただき、提出すること。（東海大学内での長期学外教育は除く）

①国内学会出張

＜出発前＞

提出書類：学外教育願、出張旅費計算書及び旅費・交通費請求書兼領収書（※１旅費・交通費不要の場合は提出不要）、学外教育に関する資料（学会プログラム等、発表の場合は、それに関する書類やタイムスケジュール等も添付、研修先の依頼書・受入書など）

提出期日：出張・研修開始日の２週間前まで。提出が遅れた場合、研究指導教員名（要押印）にて医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

＜終了後＞

提出書類：内国出張報告書　※東海大学より旅費を支給された出張のうち、(1)～(3)に該当する場合のみ

(1)宿泊を伴う出張（東京都・神奈川県内を含む）。

(2)日当支給基準である出発地から出張先最寄駅までの全経路(往復)が１５０km以上の出張(日帰り含む)。

(3)科研費（文部科研・厚労科研）、研究費（AMED）での全ての出張（日当支給有無にかかわらず）。

提出期日：帰任より２週間以内。提出が遅れた場合、研究指導教員名（要押印）の医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

＜注意事項＞

書類提出後に期間変更等があった場合は、速やかにMSCO（教学ユニット）ならびに１号館総務担当へ連絡すること。

書類の訂正は、全て訂正印を押印して行うこと。修正テープ等の使用は不可。

②外国学会出張

＜出発前＞　※各自、海外旅行保険に加入すること。

提出書類：学外教育願、外国出張明細書及び外国旅費・請求書兼領収書（※1旅費・交通費不要の場合は提出不要）、学外教育に関する資料（学会プログラム（発表の場合は、それに関する書類（タイムスケジュール等）も添付する）、研修先の依頼書・受入書など）、行程表及び飛行機のフライトスケジュール

提出期日：開始日の１ヶ月前まで。提出が遅れた場合、研究指導教員名（要押印）にて医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

＜終了後＞　※私費、予算の種類にかかわらず、次の書類を提出すること。

提出書類：帰国報告書

提出期日：終了後１ヶ月以内。提出が遅れた場合、研究指導教員名（要押印）にて医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

＜注意事項＞

書類提出後に期間変更等があった場合は、速やかにMSCO（教学ユニット）ならびに１号館総務担当へ連絡すること。

書類の訂正は、全て訂正印を押印して行うこと。修正テープ等の使用は不可。

③付属東京・大磯・八王子病院での研修

＜開始前＞　※半期ごとに提出すること。

提出書類：付属病院研修願

提出期日：開始日の１ヶ月前まで。提出が遅れた場合、研究指導教員名（要押印）にて医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

＜研修中＞

学会等の出張が発生する場合は、各病院指定の『出張旅費計算書』を各病院の事務課に提出すること。また、同時にMSCO（教学課ユニット）へ『学外教育願』も提出すること。

＜終了後＞

提出書類：研修終了届

提出期日：終了後１ヶ月以内。提出が遅れた場合、研究指導教員名（要押印）にて医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

＜注意事項＞

４年間の研修課程のうち、１年間は必ず医学部付属病院（伊勢原）で研修を行うこと。期間や研修先に変更等があった場合は、速やかにMSCO（教学課ユニット）へ連絡すること。書類の訂正は、全て訂正印を押印して行うこと。

修正テープ等の使用は不可。

④他研究機関での長期学外教育：付属病院以外での研究・研修を行う場合

【専攻医研修／大学院コース生（臨床助手２種）】

原則、長期学外教育は認められていないが、医学研究科教授会及び研修管理委員会で教育・研修上必要と判断した場合のみ、１年以内の長期学外教育を認める。

＜開始前＞　※半期ごとに提出すること。

提出書類：臨床助手２種　長期学外教育願、「大学院生の受入れについて（受入機関からの無給証明書類）」

※2受入機関で給与が保障されず、本学より給与を支給する場合、受入機関に書類を作成いただき、提出すること。（東海大学内での長期学外教育は除く）

提出期日：開始日の１ヶ月前まで。提出が遅れた場合、研究指導教員名（要押印）にて医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

＜終了後＞

提出書類：学外教育終了届

提出期日：終了後２週間以内。提出が遅れた場合、研究指導教員名（要押印）にて医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

＜注意事項＞

期間変更等があった場合は、速やかにMSCO（教学ユニット）へ連絡すること。書類の訂正は、全て訂正印を押印して行うこと。修正テープ等の使用は不可。

【大学院コース生】

原則、３ヶ月以上６ヶ月／年度まで、医学研究科が認めた場合、最長１２ヶ月／年度の学外教育を認める。

４年間のうち、最大２年間の長期学外教育を認める。

＜開始前＞　※半期ごとに提出すること。

提出書類：学外教育願

提出期日：開始日の１ヶ月前まで。提出が遅れた場合、研究指導教員名（要押印）にて医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

＜終了後＞

提出書類：学外教育終了届

提出期日：終了後２週間以内。提出が遅れた場合、研究指導教員名（要押印）にて医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

＜注意事項＞

期間変更等があった場合は、速やかにMSCO（教学ユニット）へ連絡すること。書類の訂正は、全て訂正印を押印して行うこと。修正テープ等の使用は不可。

【①～④の出張・研修に伴う書類の提出先はMSCO（教学ユニット）になります。】

旅費交通費申請に関する問合せ先

- 「出張旅費計算書」「旅費・交通費請求書兼領収書」・・・伊勢原総務担当（１号館）
- 学事予算の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・MSCO（教学ユニット）　学事担当
- 外部研究費の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・MSCO（研究支援ユニット）１号館
- 研究助成金の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・MSCO（教学ユニット）　学事担当

○各種書類・記入例

（資料①－１）学外教育願≪国内の学会に参加する場合≫

決裁番号	学外　　－　　号

起案番号	学外教第　　－　　－　　号

承認印

学　長	担当副学長	教学部長	教学部事務室長	研究科長	教務委員	在籍専攻長

学 外 教 育 願

学　長　殿

20XX年 ● 月 ◆ 日

医学研究科 **先端医科学** 専攻

研究指導教員 **望星　二郎** 印

学生証番号 **XXMUD001**

学 生 氏 名 **東海　太郎** 印

期間は出張旅費計算書の“出張期間”と同じにすること。

下記のとおり、学外教育 を実施いたしますので、許可いただきたくお願いいたします。

記

行事名・目的（学会名等）	**第●●回　日本●●●学会　総会**
期間	● 年 ● 月 ● 日（ **月** ）～　● 年 ● 月 △ 日（ **水** ）
いずれかに○をつけてください。	1.（国内）・海外）　2.（学会参加 ・ 学会発表 ・その他）
行事場所（機関・会場）	名 称: **大阪●●●ホール**
	所在地(国名・都市名): **大阪市北区梅田●●●**
	TEL: **06-XXXX-1234**
宿泊先	名 称: **ホテル●●●**
	所在地(国名・都市名): **大阪市北区梅田◇◇◇**
	TEL: **06-＊＊＊＊-5678**

旅費・交通費を申請する場合は、予算の名称または予算科目を記入すること。

保険等の加入先(名称) ※海外行事に参加する場合のみ	所在地(国名・都市名):
費用(旅費等)の出所 ※その他の場合、予算科目等を具体的に記入	私費・その他（ **院6-24** ）

国外へ出張の場合のみ、下記該当項目へチェックをしてください。

国内の場合、こちらは記入不要です。

安全保障輸出管理確認事項(該当項目にチェック)		科・領域確認

A 研究に関する技術提供を行わない、または研究に関する技術提供は不特定多数の者が参加する学会等での発表である。

B 研究活動に伴う機器、試料などを携行しない。　※自分で使用するためのPCまたは携帯電話等は対象外

	AとBに該当	→ 確認は終了です【XS】
	Aのみ該当	→ T365から事前チェック(貨物の輸出)を行ってください【XS】
	Bのみ該当	→ 安全保障輸出管理事前チェックシート(外国出張)を作成、添付してください
	該当しない	→ 安全保障輸出管理事前チェックシート(外国出張)を作成・添付、T365から事前チェック(貨物の輸出)を行ってください

注1) 国外および1ヶ月以上の長期間の場合は、1ヶ月前に提出してください。
提出が遅れた場合は、指導教員による遅延理由書(任意の書式)を添付してください。
また学会プログラム等の資料を添付してください。

注2) 【内国出張報告書】帰任より2週間以内。過ぎた場合は遅延理由書必須。提出不要な場合もあるので、詳しくは「履修の手引き」を確認すること。
【帰国報告書】帰任より1ヶ月以内。過ぎた場合は遅延理由書必須。私費、予算の種類にかかわらず提出。

教学課長

☆記入のポイント（国内の学会に参加する場合）

- 期間は『出張旅費計算書』の出張期間を記入すること。（学会の開催日ではないので注意）
- 宿泊を伴う学外教育の場合、宿泊先も記入すること。
- 旅費、交通費を申請する場合は“費用（旅費等）の出所”欄に予算名または予算科目を記入し、旅費、交通費が不要の場合は“私費”に〇をつけるか、「旅費不要」と明記すること。
  例）学事予算の場合　…　「学事予算」または「院６−２４」
  研究助成金の場合 …　「助　１６−２４」
  研究費の場合　　…　研究費の種類（委託研究費、研究促進費など）または研究費コード
- 学会の開催方式がオンライン等にて出張が伴わない場合でも、参加費が発生する場合は提出すること。
- 学外教育願は開始日の２週間前までに提出すること。提出が遅れた場合、研究指導教員名（要押印）にて医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。
- 学外教育終了後の書類提出（事後提出）はできない。
- 学外教育で日程変更またはキャンセルが発生する場合は、速やかにMSCO（教学ユニット）大学院担当へ連絡すること。
- 学外教育終了後２週間以内に『出張報告書』を提出すること（私費の場合は提出不要）。
  提出が遅れた場合、研究指導教員名（要押印）にて医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

学事予算:指導教員
研究費:研究代表者
研究助成金:押印不要(提出後、学事係より依頼)

学事予算･研究費･研究助成金も大学院生本人

様式 7 医･大学院用

旅費･交通費請求書兼領収書 請求年月日　20xx年●月・・日	支出承認者 教員印	学生証番号　*BMUD〇〇〇 所属　医学研究科　先端医科学専攻 役職･身分　大学院生 内線番号　4023	教職員No. ＊＊＊＊＊＊＊ 氏名 東海　花子　本人印		
出張期間	20xx年●月〇日(木)　～　20xx年●月△日(金)	1　泊　2　日		事務部長	学部長
目的(学会名等)	第〇回〇〇学会　発表				
出張先	都道府県　京都 区市　京都	会場名等　〇〇会場		財務課長	予算主管
交通費	伊勢原駅・その他 (　線　駅)　←→	往: 通・閑・繁　復:通・閑・繁 航空機　・パック			
日当費	(学事予算不可)　×	前泊 後泊 日当不要		出納主管	主管係
宿泊費	×				
右記の金額正に領収致しました 年　月　日　印		合計　¥ 摘要欄　R 所属　〇〇学 指導教員名　伊勢原　太郎		出納係	請求取扱者
出納No.	予算区分	予算科目			
	医学部 ・ 健康科学部　勘定	院 6-24または 17F〇〇研究代表者			

（資料①－２）出張報告書≪国内の学会参加が終了した場合≫

大学院生用

出　張　報　告　書（内 国）

20XX 年 ● 月 □ 日

担当教員　殿

下記のとおり出張いたしましたので、ご報告いたします。

研究科 専攻等	**医学研究科　先端医科学専攻**		
氏　　名	**山田　星子**　印	学生証番号	**XXMUD001**
期　　間	**20XX 年●月△日（月）～20XX 年●月◆日（水）**		
出 張 先	**福岡●●ホール（福岡県福岡市博多区）**		
目　　的	**第○回　▲▲学会の参加**		
予 算 科 目	学事予算 ・　その他（コードNo.　　）		
報 告 事 項	**（※記入例）** **●月△日…＊＊大学先生講演：テーマ「・・・・・・・について」聴講** **●月◆日…研究発表「・・・・・・・・・の成果」** **発表者代表：●●ＸＸ教授（東海大学○○科系　☆☆科学）** **（感想）** **今回の学会参加で○○が判明し、学位論文の作成に大いに役立つ結果を得られました。**		

研究科長等	専攻長	指導教員承認
		印

指導教員の捺印が必要

※学外教育終了後、２週間以内に MSCO（教学ユニット）へ提出すること（私費の場合は不要）

（資料②－１）学外教育願≪海外の学会に参加する場合≫

決裁番号	学外　　－　　号

起案番号	学外教第　　－　　－　　号

承認印

学　長	担当副学長	教学部長	教学部事務室長	研究科長	教務委員	在籍専攻長

学 外 教 育 願

学　長　殿

20XX年 ● 月 ◆ 日

医学研究科 **先端医科学** 専攻

研究指導教員 **望星　二郎** 印

学生証番号 **XXMUD001**

学 生 氏 名 **東海　太郎** 印

下記のとおり、学外教育 を実施いたしますので、許可いただきたくお願いいたします。

記

行事名・目的（学会名等）	**第●●回　米国●●●学会**
期間	● 年 ● 月 ● 日（ **月** ）～ ● 年 ● 月 □ 日（ **金** ）
いずれかに○をつけてください。	1.（国内 ・ 海外） 2.（学会参加） 学会発表 ・その他）
行事場所（機関・会場）	名 称: **Washington Convention Center**
	所在地(国名・都市名): **米国・ワシントン**
	TEL: **+1-202-XXX-1234**
宿泊先	名 称: **Washington ●●●● Hotel**
	所在地(国名・都市名): **米国・ワシントン**
	TEL: **+1-202-＊＊＊-5678**
保険等の加入先（名称）※海外行事に参加する場合のみ	**■■■損害保険**
	所在地（国名・都市名）: **米国・ワシントン**
費用（旅費等）の出所 ※その他の場合、予算科目等を具体的に記入	私費・（その他） **19F●●●●●　望星二郎** ）

旅行保険の加入が必須です。

事務担当者や秘書の方（第３者）等の確認印を押印してください。

国外へ出張の場合のみ、下記該当項目へチェックをしてください。

安全保障輸出管理確認事項（該当項目にチェック）	教学課確認	学科・領域確認
内容について、詳しくは研究支援課へ		㊞

A 研究に関する技術提供を行わない、または研究に関する技術提供は不特定多数の者が参加する学会等での発表である。

B 研究活動に伴う機器、試料などを携行しない。　※自分で使用するためのPCまたは携帯電話等は対象外

レ	AとBに該当	→	確認は終了です【XS】
	Aのみ該当	→	T365から事前チェック（貨物の輸出）を行ってください【XS】
	Bのみ該当	→	安全保障輸出管理事前チェックシート（外国出張）を作成、添付してください
	該当しない	→	安全保障輸出管理事前チェックシート（外国出張）を作成・添付、T365から事前チェック（貨物の輸出）を行ってください

注1） 国外および1ヶ月以上の長期間の場合は、1ヶ月前に提出してください。
提出が遅れた場合は、指導教員による遅延理由書(任意の書式)を添付してください。
また学会プログラム等の資料を添付してください。

注2） 【内国出張報告書】帰任より2週間以内。過ぎた場合は遅延理由書必須。提出不要な場合もあるので、
詳しくは「履修の手引き」を確認すること。
【帰国報告書】帰任より1ヶ月以内。過ぎた場合は遅延理由書必須。私費、予算の種類にかかわらず提出。

教学課長

☆記入のポイント（海外の場合）

・宿泊を伴う学外教育の場合、宿泊先も記入すること。

・旅費、交通費を申請する場合は“費用（旅費等）の出所”欄に予算名または予算科目を記入すること。
予算についての問合せ先：
●研究費→MSCO（研究支援ユニット）１号館
●学事予算・研究助成金→MSCO（教学ユニット）学事係

・海外の学外教育の場合、各自、渡航前までに海外旅行保険に加入すること。

・学外教育願は開始日の１ヶ月前までに提出すること。遅れた場合、指導教員名（要押印）の医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

・学外教育終了後の書類提出（事後提出）はできません。

・日程変更または渡航のキャンセルが発生した場合、速やかにMSCO（教学ユニット）大学院担当へ連絡すること。

・学外教育終了後１ヶ月以内に『帰国報告書』を提出すること（私費・予算利用ともに要提出）。遅れた場合、指導教員名（要押印）の医学研究科長宛の遅延理由書（様式自由）を添付すること。

・学会の開催方式がオンライン等にて出張が伴わない場合でも、参加費が発生する場合は提出すること。

（資料②－２）学外教育願≪海外の学会参加が終了した場合≫

大学院生用

（様式１７）　　年　　月　　日

学　長
　山田　清志　殿

帰　国　報　告　書

研究科・専攻等　**先端医科学専攻**

学 生 証 番 号　**XXMUD●●●**

氏　　名　**望星　五郎**　印

下記のとおり帰国いたしましたので、ご報告いたします。

出　張　先	**スペイン・バルセロナ**
目　　的	**第○回　欧州腫瘍学会総会への参加**
期　　間	**20XX 年★月●日　～　20XX 年★月□日（５日間）**
予 算 科 目	学事予算　・（その他）コードNo.　**17Fxxxxx**　）
報 告 事 項	**（★月●日）移動日** **（★月◆日）会場到着、講演の聴講** **テーマ：・・・・・・・・・・** **演　者：○○○○氏（フランス△△大学　医学部教授）** **（★月○日）討論会の聴講** **テーマ：・・・・・・・・・・** **パネリスト：★★★氏（ドイツ○○病院　院長）** **□□□氏（ベルギー○○研究所　客員研究員）** **▼▼▼氏（日本○○大学先端医療センター　准教授）** **（★月△日）研究発表　テーマ「・・・」** **（★月□日）帰国** **（感想・報告）** **今回の学会では・・・・・であった。**

※帰国後１ヶ月以内にご提出願います。
１ヶ月を超えた場合は「理由書」を添付願います（書式：Ａ４、学長宛）。

指導教員　**伊勢原　三郎**　印

専攻長　　印

研究科長等　　印

指導教員の署名・捺印

２．カリキュラム表

（１）先端医科学専攻（博士課程）
●2022 年度入学生

基盤科目10単位及び分野別科目のうち講義科目から8単位以上、演習または実習科目から8単位以上の合計16単位以上を修得し、さらに基盤科目と分野別科目を合わせて30単位以上を修得し、博士論文の審査並びに最終試験に合格すること。
がん専門医コースを希望する者は指定された科目から16単位以上を履修すること。
看護学コースを希望する者は指定された3科目を履修すること。

分野・領域	グレードナンバー	授業科目	単位数	開講期間（1週当りのコマ数） 春学期	集中	秋学期	集中
基盤科目	800	最新医学研究各論	1	1			
	800	医学研究と倫理	1			1	
	800	データ解析論	1	1			
	800	研究プランニング論	1			1	
	800	研究ゼミナール1	2	1		1	
	800	研究ゼミナール2	2	1		1	
	800	研究ゼミナール3	2	1		1	
分野別科目	800	医学教育学1	2	1		1	
	800	医学教育学演習1	2	1		1	
	800	医学教育学2	2	1		1	
	800	医学教育学演習2	2	1		1	
	800	ゲノム医学1	2	1		1	
	800	ゲノム医学実習1	2	2		2	
	800	ゲノム医学2	2	1		1	
	800	ゲノム医学実習2	2	2		2	
	800	分子細胞医学1	2	1		1	
	800	分子細胞医学実習1	2	2		2	
	800	分子細胞医学2	2	1		1	
	800	分子細胞医学実習2	2	2		2	
	800	発生工学1	2	1		1	
	800	発生工学実習1	2	2		2	
	800	発生工学2	2	1		1	
	800	発生工学実習2	2	2		2	
	800	人体構造機能学1	2	1		1	
	800	人体構造機能学実習1	2	2		2	
	800	人体構造機能学2	2	1		1	
	800	人体構造機能学実習2	2	2		2	
	800	免疫学1	2	1		1	
	800	免疫学実習1	2	2		2	
	800	免疫学2	2	1		1	
	800	免疫学実習2	2	2		2	
	800	感染防御学1	2	1		1	
	800	感染防御学実習1	2	2		2	
	800	感染防御学2	2	1		1	
	800	感染防御学実習2	2	2		2	
	800	診断学1 ＊	2	1		1	
	800	診断学実習1 ＊	2	2		2	
	800	診断学2 ＊	2	1		1	
	800	診断学実習2 ＊	2	2		2	
	800	治療学1 ＊	2	1		1	
	800	治療学実習1 ＊	2	2		2	
	800	治療学2 ＊	2	1		1	
	800	治療学実習2 ＊	2	2		2	
	800	再生医学1	2	1		1	
	800	再生医学実習1	2	2		2	
	800	再生医学2	2	1		1	
	800	再生医学実習2	2	2		2	
	800	薬物代謝学	2	1		1	
	800	薬と医療器機の開発	2	1		1	

分野・領域	グレードナンバー	授業科目	単位数	開講期間（1週当りのコマ数） 春学期	集中	秋学期	集中
分野別科目	800	国際地域・環境学1	2	1		1	
	800	国際地域・環境学実習1	2	2		2	
	800	国際地域・環境学2	2	1		1	
	800	国際地域・環境学実習2	2	2		2	
	800	実践科学英語	1	2			
	800	実践科学英語演習	1	2			
	800	老年医学総論1	2	1		1	
	800	老年医学総論2	2	1		1	
	800	栄養学	2	1		1	
	800	栄養学実習	2	2		2	
	800	運動生理学	2	1		1	
	800	運動生理学実習	2	2		2	
	800	人間ドック・健康ドック学	2	1		1	
	800	健康ドック面談法実習	2	2		2	
	800	比較文化論	2	1		1	
	800	臨床腫瘍学1 [a]	2	1		1	
	800	臨床腫瘍学実習1 [a]	2	2		2	
	800	臨床腫瘍学2 [a]	2	1		1	
	800	臨床腫瘍学実習2 [a]	2	2		2	
	800	臨床薬理学特講 [a]	2	1		1	
	800	臨床薬理学特講実習 [a]	2	2		2	
	800	放射線治療学 [a]	2	1		1	
	800	放射線治療学実習[a]	2	2		2	
	800	がん薬物療法学 [a]	2	1		1	
	800	がん薬物療法学実習 [a]	2	2		2	
	800	緩和ケア学 [a]	2	1		1	
	800	緩和ケア学実習 [a]	2	2		2	
	800	内視鏡治療学 [a]	2	1		1	
	800	内視鏡治療学実習 [a]	2	2		2	
	800	医療統計学	1		15		
	800	ﾊﾞｲｵｲﾝﾌｫﾏﾃｨｸｽ･ﾘﾃﾗｼｰ	1			1	
	800	臨床試験方法論	1	1			
	800	医学研究のためのﾃﾞｰﾀﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	1			1	
	800	応用看護科学研究論 [b]	2	1		1	
	800	応用看護科学特論 [b]	2	1		1	
	800	応用看護科学演習 [b]	2	1		1	

＊印科目：医師の免状を有し、かつ2年間の臨床研修修了者のみが履修可
a 印科目：がん専門医コース指定科目
b 印科目：看護学コース指定科目

●2019 年度以前入学生

基盤科目10単位および分野別科目のうち講義科目から8単位以上、演習または実習科目から8単位以上の合計16単位以上を修得し、さらに基盤科目と分野別科目を併せて30単位以上を修得し、博士論文の審査ならびに最終試験に合格すること。
また本専攻においてはがん専門医を目指す学生に対してがん専門医コース科目を設けている。希望者は指定された科目から16単位以上を履修すること。

分野・領域	グレード ナンバー	授業科目	単位数	開講期間（1週当りのコマ数） 春学期	集中	秋学期	集中
基盤科目	800	最新医学研究各論	1	1			
	800	医学研究と倫理	1			1	
	800	データ解析論	1	1			
	800	研究プランニング論	1			1	
	800	研究ゼミナール1	2	1		1	
	800	研究ゼミナール2	2	1		1	
	800	研究ゼミナール3	2	1		1	
分野別科目	800	医学教育学1	2	1		1	
	800	医学教育学演習1	2	1		1	
	800	医学教育学2	2	1		1	
	800	医学教育学演習2	2	1		1	
	800	ゲノム医学1	2	1		1	
	800	ゲノム医学実習1	2	2		2	
	800	ゲノム医学2	2	1		1	
	800	ゲノム医学実習2	2	2		2	
	800	分子細胞医学1	2	1		1	
	800	分子細胞医学実習1	2	2		2	
	800	分子細胞医学2	2	1		1	
	800	分子細胞医学実習2	2	2		2	
	800	発生工学1	2	1		1	
	800	発生工学実習1	2	2		2	
	800	発生工学2	2	1		1	
	800	発生工学実習2	2	2		2	
	800	人体構造機能学1	2	1		1	
	800	人体構造機能学実習1	2	2		2	
	800	人体構造機能学2	2	1		1	
	800	人体構造機能学実習2	2	2		2	
	800	免疫学1	2	1		1	
	800	免疫学実習1	2	2		2	
	800	免疫学2	2	1		1	
	800	免疫学実習2	2	2		2	
	800	感染防御学1	2	1		1	
	800	感染防御学実習1	2	2		2	
	800	感染防御学2	2	1		1	
	800	感染防御学実習2	2	2		2	
	800	診断学1 ＊	2	1		1	
	800	診断学実習1 ＊	2	2		2	
	800	診断学2 ＊	2	1		1	
	800	診断学実習2 ＊	2	2		2	
	800	治療学1 ＊	2	1		1	
	800	治療学実習1 ＊	2	2		2	
	800	治療学2 ＊	2	1		1	
	800	治療学実習2 ＊	2	2		2	
	800	再生医学1	2	1		1	
	800	再生医学実習1	2	2		2	
	800	再生医学2	2	1		1	
	800	再生医学実習2	2	2		2	
	800	薬物代謝学	2	1		1	
	800	薬と医療器機の開発	2	1		1	

分野・領域	グレード ナンバー	授業科目	単位数	開講期間（1週当りのコマ数） 春学期	集中	秋学期	集中
分野別科目	800	国際地域・環境学1	2	1		1	
	800	国際地域・環境学実習1	2	2		2	
	800	国際地域・環境学2	2	1		1	
	800	国際地域・環境学実習2	2	2		2	
	800	実践科学英語	1	2			
	800	実践科学英語演習	1	2			
	800	老年医学総論1	2	1		1	
	800	老年医学総論2	2	1		1	
	800	栄養学	2	1		1	
	800	栄養学実習	2	2		2	
	800	運動生理学	2	1		1	
	800	運動生理学実習	2	2		2	
	800	人間ドック・健康ドック学	2	1		1	
	800	健康ドック面談法実習	2	2		2	
	800	比較文化論	2	1		1	
	800	臨床腫瘍学1 [a]	2	1		1	
	800	臨床腫瘍学実習1 [a]	2	2		2	
	800	臨床腫瘍学2 [a]	2	1		1	
	800	臨床腫瘍学実習2 [a]	2	2		2	
	800	臨床薬理学特講 [a]	2	1		1	
	800	臨床薬理学特講実習 [a]	2	2		2	
	800	放射線治療学 [a]	2	1		1	
	800	放射線治療学実習[a]	2	2		2	
	800	がん薬物療法学 [a]	2	1		1	
	800	がん薬物療法学実習 [a]	2	2		2	
	800	緩和ケア学 [a]	2	1		1	
	800	緩和ケア学実習 [a]	2	2		2	
	800	内視鏡治療学 [a]	2	1		1	
	800	内視鏡治療学実習 [a]	2	2		2	
	800	医療統計学	1		15		
	800	ﾊﾞｲｵｲﾝﾌｫﾏﾃｨｸｽ･ﾘﾃﾗｼｰ	1			1	
	800	臨床試験方法論	1	1			
	800	医学研究のためのﾃﾞｰﾀﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	1			1	

＊印科目：医師の免状を有し、かつ2年間の臨床研修修了者のみが履修可
a 印科目：がん専門医コース指定科目

（２）医科学専攻（修士課程）

研究指導教員の担当する医科学研究ゼミナール１と２（計８単位）および医科学研究序論特論の２単位と分野別科目から２０単位以上（境界領域強化科目から１２単位とする）を修得し、併せて３０単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格すること。

分野・領域	ナンバー グレード	授業科目	単位数	開講期間（1週当りのコマ数） 春学期	集中	秋学期	集中
分野別科目	700	医科学研究ゼミナール１	4	1		1	
	700	医科学研究ゼミナール２	4	1		1	
	600	医科学研究序論特講	2	1			
	600	分子細胞生物学特講	2	1			
	600	分子細胞生物学特講実習	2	2			
	600	免疫学特講	2			1	
	600	免疫学特講実習	2			2	
	600	医学情報学特講＊	2	1			
	600	医学情報学特講実習＊	2	2			
	600	社会医学特講	2	1			
	600	社会医学特講実習	2	2			
	600	国際医療学特講	2			1	
	600	国際医療学特講実習	2			2	
	600	人体構造機能学特講＊	2	1			
	600	人体構造機能学特講実習＊	2	2			
	600	病理病態学特講	2			1	
	600	病理病態学特講実習	2			2	
	600	感染症学特講	2			1	
	600	感染症学特講実習	2			2	

分野・領域	ナンバー グレード	授業科目	単位数	開講期間（1週当りのコマ数） 春学期	集中	秋学期	集中
分野別科目	600	臨床医学特講＊	2	1			
	600	臨床医学特講実習＊	2	2			
	600	分子生体制御学特講	2			1	
	600	分子生体制御学特講実習	2			2	
	600	精神保健学特講	2	1			
	600	精神保健学特講実習	2	2			
	600	生物統計学＊	1		7.5		
	600	ﾊﾞｲｵｲﾝﾌｫﾏﾃｨｸｽ･ﾘﾃﾗｼｰの基礎＊	1				7.5
	600	臨床試験の基礎＊	1		7.5		
	600	医学研究のためのデータ管理＊	1				7.5
	600	放射線物理学特論	2	1			
	600	保健物理防護学	2	1			
	600	放射線診断物理学	2	1			
	600	放射線治療物理学	2			1	
	600	放射線計測学	2	1			
	600	放射線診断画像学	2			1	
	600	放射線生物腫瘍学	2	1			
	600	放射線関連法規・医療倫理	2			1	
	600	放射線治療実習	2	2			

＊印は境界領域強化科目

●「医学物理士養成コース」指定履修科目について

医学研究科医科学専攻においては、医学物理士を目指す大学院生に対して「医学物理教育コース」を設置している。希望者は指定された科目を履修すること。

（ｐ.21「医学物理教育コース」カリキュラム対応表参照）。

●医学物理教育コース

医学物理士認定機構が要求する科目

科目			最小時間数	コマ数	最少単位
基礎教育科目	基礎物理学選択から最低2科目合計8単位	力学	30	15	2
		電磁気学	30	15	2
		熱力学・統計力学(選択)	30	15	2
		量子力学(選択)	30	15	2
		原子核物理学(選択)	30	15	2
	物理数学 (選択)		15	8	1
	解剖学		15	8	1
	生理学		15	8	1
	腫瘍病理学 (選択)		15	8	1
放射線物理学			30	15	2
統計学			15	8	1
保健物理学/放射線防護学Ⅰ			30	15	2
放射線診断物理学 Ⅰ			15	8	1
核医学物理学Ⅰ			15	8	1
放射線治療物理学 Ⅰ			15	8	1
放射線治療物理学 Ⅱ(選択)			15	8	1
放射線計測学			30	15	2
放射線診断学			15	8	1
核医学			15	8	1
医療・画像情報学			15	8	1
放射線腫瘍学			15	8	1
放射線生物学			15	8	1
放射線関連法規および勧告/医療倫理			15	8	1
実習・演習(保健物理学/放射線防護学、放射線診断物理学、核医学物理学、放射線治療物理学)			60	30	2
科学英語 (選択)			15	8	1
保健物理学/放射線防護学Ⅱ(選択)			15	8	1
核医学物理学Ⅱ(選択)			15	8	1
放射線診断物理学 Ⅱ(選択)			15	8	1
臨床研修(修士選択)			30 (修士) 60 (博士)	15 (修士) 30 (博士)	1 (修士) 2 (博士)
特別研究(課程論文)			60 (修士) 150 (博士)	30 (修士) 75 (博士)	2 (修士) 5 (博士)

上記「本学開講科目」をすべて履修する。
※の科目は学部履修を前提とする。

本学開講科目

科目	担当教員	開講学部・学科・研究科	開講セメスター	単位
力学※	内海 倫明	工学部・原子力工学科	春	2
電磁気学※	面谷 信	工学部・光・画像工学科	春	2
熱力学※	鄭 和翊	理学部・物理学科	秋	2
統計力学※	豊田 正	理学部・物理学科	春	2
量子力学※	内海 倫明	工学部・原子力工学科	春	2
原子核物理学※	ベンツ ヴォルフガング	理学部・物理学科	秋	2
選択科目のため開講せず	-			-
人体構造機能学特講	寺山 勇人 他	医学研究科	春	2
分子生体制御学特講	稲垣 豊 他	医学研究科	秋	2
病理病態学特講	中村 直哉 他	医学研究科	秋	2
放射線物理学特論	株木 重人 他	医学研究科	春	2
生物統計学	小林 広幸	医学研究科	春	2
保健物理防護学	株木 重人 他	医学研究科	春	2
放射線診断物理学	株木 重人 他	医学研究科	春	2
放射線治療物理学	株木 重人 他	医学研究科	秋	2
放射線計測学	株木 重人 他	医学研究科	春	2
放射線診断画像学	株木 重人 他	医学研究科	秋	2
医学情報学特講	今西 規 他	医学研究科	春	2
放射線生物腫瘍学	株木 重人 他	医学研究科	春	2
放射線関連法規・医療倫理	株木 重人 他	医学研究科	秋	2
放射線治療実習	株木 重人 他	医学研究科	春	2
医科学研究ゼミナール1、2 (修士) 研究ゼミナール1、2、3 (博士)	研究指導教員	医学研究科		4,4 (修士) 2,2,2(博士)
医学情報学特講実習	今西 規 他	医学研究科	春	2
選択科目のため開講せず				
選択科目のため開講せず				
選択科目のため開講せず				
選択科目のため開講せず				
選択科目のため開講せず				

基本的に右表と左表の行で対応。2科目に渡る場合は表の間の矢印で示す。
担当教員は変更となる場合がある。

３．　授業時間割表

医学研究科　授業時間帯

先端医科学専攻（博士課程）
６０分授業

時　限	時　　間
1	9：00～10：00
2	10：10～11：10
3	11：20～12：20
4	13：10～14：10
5	14：20～15：20
6	15：30～16：30
7	16：40～17：40

※必修科目は 18：30～19：30

医科学専攻（修士課程）
９０分授業

時　限	時　　間
1	9：00～10：30
2	10：40～12：10
3	13：20～14：50
4	15：00～16：30
5	16：40～18：10
6	18：20～19：50

授業時間割表の見方

先端医科学専攻（博士課程）

火	1	Z61283　人体構造機能学1（寺山隼人）	Z61305　人体構造機能学2（寺山隼人）
	2	Z61127　医学教育学1（浦野哲哉）	Z61143　医学教育学2(浦野哲哉）
	3	Z61135　医学教育学演習1（浦野哲哉）	Z61151　医学教育学演習2(浦野哲哉）
	4		
	5	Z61534 薬と医療機器の開発（後藤信哉）	
	6	Z61526 薬物代謝学 （小林広幸）	
	7	Z61691 臨床腫瘍学1（安藤　潔）	

登録番号
Web 履修登録に使用。

同時開講
同時開講しているので、選択して受講する。

通年開講
（春）（秋）の表示がない場合は、
１年を通じて開講されていることを示す。（通年開講）

金	7	Z61844　臨床試験方法論 （小林広幸・春）	Z66269　医学研究のためのﾃﾞｰﾀﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ （小林広幸・秋）
	8	**●Z61089 データ解析論 （必修・春）18:30～19:30**	**●Z66242 研究プランニング論 （必修・秋）18:30～19:30**

半期開講
（春）…春学期に開講されることを表す。
（秋）…秋学期に開講されることを表す。

医科学専攻（修士課程）

曜日	時限	春　学　期	秋　学　期
水	1		
	2	Z621312　医学情報学特講（今西規）	Z66366　2　病理病態学特講（中村直哉）
	3	Z62140　2　医学情報学特講実習（今西規）	Z66374　2　病理病態学特講実習（中村直哉）
	4		

単位数

【博士課程の選択科目について】
選択科目を履修する際はシラバスから教員連絡先を確認して、必ず担当教員へご自身で連絡してください。
なお、履修登録期間内に担当教員と連絡が取れず、履修の許可が確認できない場合でも先に履修登録は完了させてください。
必修科目については、担当教員への連絡は不要です。

（１）先端医科学専攻博士課程　時間割表

※履修をする際は、各科目の Web シラバスを確認し、（　）内の科目責任者へ連絡を入れること。

曜日	時限	開講科目	
月	1	Z61241 発生工学1（穂積勝人）	Z61267 発生工学2(大塚正人)
	2	Z61321 免疫学1（穂積勝人）	Z61348 免疫学2（穂積勝人）
	3		
	4		
	5	Z61364 感染防御学1(山本典生)	Z61381 感染防御学2(山本典生)
	6		
	7	Z61739 臨床薬理学特講（小林広幸）	
	8	Z66251 ﾊﾞｲｵｲﾝﾌｫﾏﾃｨｸｽﾘﾃﾗｼｰ（小見山智義・秋）	
火	1	Z61283 人体構造機能学1（寺山隼人）	Z61305 人体構造機能学2（寺山隼人）
	2	Z61127 医学教育学1（浦野哲哉）	Z61143 医学教育学2（浦野哲哉）
	3	Z61135 医学教育学演習1（浦野哲哉）	Z61151 医学教育学演習2（浦野哲哉）
	4		
	5	Z61534 薬と医療機器の開発（後藤信哉）	
	6	Z61526 薬物代謝学 （小林広幸）	
	7	Z61691 臨床腫瘍学1（安藤 潔）	
水	1	Z61160 ゲノム医学1（椎名隆）	Z61186 ゲノム医学2（椎名隆）
	2	Z61640 運動生理学（西﨑泰弘）	
	3	Z61755 放射線治療学（菅原章友）	
	4		
	5	Z61542 国際地域・環境学1（木ノ上高章）	Z61569 国際地域・環境学2（木ノ上高章）
	6		
	7	Z61402 診断学1 ※内科系（小澤秀樹）	Z61429 診断学2 ※外科系（橋本順）
木	1	Z61607 老年医学総論1（西﨑泰弘）	Z61615 老年医学総論2（西﨑泰弘）
	2		
	3	Z61488 再生医学1（佐藤正人）	Z61500 再生医学2（佐藤正人）
	4	Z61623 栄養学（西﨑泰弘）	
	5		
	6		
	7	Z61712 臨床腫瘍学2（小林広幸）	
	8	**●Z61071 最新医学研究各論（必修・春）18:30～19:30**	**●Z66234 医学研究と倫理（必修・秋）18:30～19:30**
金	1	Z61208 分子細胞医学1（秦野伸二）	Z61224 分子細胞医学2（秦野伸二）
	2	Z61666 人間ドック・健康ドック学（川田浩志）	
	3		
	4	Z61798 緩和ケア学（山本賢司 ）	
	5	Z61682 比較文化論（酒井大輔）	
	6	Z61771 がん薬物療法学（安藤 潔）	
	7	Z61844 臨床試験方法論（小林広幸・春）	Z66269 医学研究のためのﾃﾞｰﾀﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ（小林広幸・秋）
	8	**●Z61089 データ解析論（必修・春）18:30～19:30**	**●Z66242 研究プランニング論（必修・秋）18:30～19:30**
土	1	Z61585 実践科学英語（稲垣 豊・春）	
	2		
	3	Z61593 実践科学英語演習（稲垣 豊・春）	
	4		
	5	Z61810 内視鏡治療学（宮嶋哲）	
	6	Z61445 治療学1 ※内科系(後藤信哉)	Z61461 治療学2 ※外科系(中郡聡夫)

注1） 記載の教員は科目責任者である。担当教員については シラバスの講義内容を参照のこと。

注2） （春)は春学期開講、(秋）は秋学期開講、それ以外は通年開講を表します。

注3） 原則として、1を履修して後に2を履修します。
例）1年次「発生工学1」 2年次「発生工学2」

注4） ※のついた科目は、臨床研修修了者のみ履修可能

＜他＞

Z61097 研究ゼミナール1（指導教員） ※1年次に履修登録

Z61101 研究ゼミナール2（指導教員） ※2年次に履修登録

Z61119 研究ゼミナール3（指導教員） ※3年次に履修登録

「…実習1」は原則、1年次履修
「…実習2」は原則、2年次履修

Z61259 発生工学実習1（穂積勝人）
Z61275 発生工学実習2（大塚正人）
Z61330 免疫学実習1（穂積勝人）
Z61356 免疫学実習2（穂積勝人）
Z61372 感染防御学実習1（山本典生）
Z61399 感染防御学実習2（山本典生）
Z61178 ゲノム医学実習1（椎名隆）
Z61194 ゲノム医学実習2（椎名隆）
Z61704 臨床腫瘍学実習1（安藤潔）※
Z61721 臨床腫瘍学実習2（小林広幸）
Z61291 人体構造機能学実習1（寺山隼人）
Z61313 人体構造機能学実習2（寺山隼人）
Z61496 再生医学実習1（佐藤正人）
Z61518 再生医学実習2（佐藤正人）
Z61216 分子細胞医学実習1（紙谷聡英）
Z61232 分子細胞医学実習2（紙谷聡英）
Z61551 国際地域・環境学実習1（木ノ上高章）
Z61577 国際地域・環境学実習2（木ノ上高章）
Z61828 内視鏡治療学実習（宮嶋哲）
Z61658 運動生理学実習（西﨑泰弘）
Z61747 臨床薬理学特講実習（小林広幸）
Z61780 がん薬物療法学実習（安藤潔）
Z61411 診断学実習1 ※内科系（小澤秀樹）
Z61437 診断学実習2 ※外科系（橋本順）
Z61453 治療学実習1 ※内科系（後藤信哉）
Z61470 治療学実習2 ※外科系（中郡聡夫）
Z61631 栄養学実習（西﨑泰弘）
Z61674 健康ドック面談法実習（川田浩志）
Z61801 緩和ケア学実習（山本賢司）
Z61763 放射線治療学実習（菅原章友）
Z61836 医療統計学 ※集中講義（小林広幸）
Z62018 応用看護科学特論（池内眞弓）
Z62468 応用看護科学演習（庄村雅子）

（２）医科学専攻修士課程　時間割表

曜日	時限	春　学　期	秋　学　期
月	1		
	2	Z62115　2　分子細胞生物学特講（秦野伸二）	Z66382　2　感染症学特講（山本典生）
	3	Z62123　2　分子細胞生物学特講実習（秦野伸二）	Z66391　2　感染症学特講実習（山本典生）
	4		
	5	Z62301　2　放射線治療実習（株木重人）	Z66421　1　ﾊﾞｲｵｲﾝﾌｫﾏﾃｨｸｽ･ﾘﾃﾗｼｰの基礎（小見山智義）※全8回
	6		
火	1	Z62271　2　放射線診断物理学（株木重人）	Z66463　2　放射線関連法規・医療倫理（株木重人）
	2	Z62191　2　臨床医学特講（後藤信哉）	Z66323　2　免疫学特講（穂積勝人）
	3	Z62204　2　臨床医学特講実習	Z66331　2　免疫学特講実習（佐藤健人）
	4		
	5	Z62280　2　放射線計測学（株木重人）	
水	1	Z62263　2　保健物理防護学（株木重人）	
	2	Z62131　2　医学情報学特講（今西規）	Z66366　2　病理病態学特講（中村直哉）
	3	Z62140　2　医学情報学特講実習（今西規）	Z66374　2　病理病態学特講実習（中村直哉）
	4		
	5	Z62247　1　臨床試験の基礎（小林広幸）※全8回	
木	1	Z62298　2　放射線生物腫瘍学（株木重人）	
	2	Z62158　2　社会医学特講（立道昌幸）	Z66404　2　分子生体制御学特講（稲垣豊）
	3	Z62166　2　社会医学特講実習（大澤資樹）	Z66412　2　分子生体制御学特講実習（稲垣豊）
	4		
	5	Z62107　2　医科学研究序論特講（小林広幸）	
金	1	Z62255　2　放射線物理学特論（株木重人）	Z66447　2　放射線治療物理学（株木重人）
	2	Z62174　2　人体構造機能学特講（寺山隼人）	Z66340　2　国際医療学特講（木ノ上高章）
	3	Z62182　2　人体構造機能学特講実習（寺山隼人）	Z66358　2　国際医療学特講実習（木ノ上高章）
	4		
	5	Z62239　1　生物統計学（小林広幸）※全8回	Z66439　1　医学研究のためのデータ管理（小林広幸）※全8回
土			
他		Z62077　4　（通年）医科学研究ゼミナール1（指導教員）※1年次に履修 Z62093　4　（通年）医科学研究ゼミナール2（指導教員）※2年次に履修 Z62212　2　（春）精神保健学特講（山本賢司）　※集中講義科目 Z66455　2　（秋）放射線診断画像学（株木重人）	

注１）記載の教員は科目責任者である。担当教員についてはシラバスの講義内容を参照のこと。

４.博士論文(学位申請)について

東海大学大学院医学研究科博士課程に在籍する者の学位申請手続きは以下のとおりである。予め本書、申請書記入見本を熟読のうえ、申請書類を作成すること。

(1)医学研究科博士課程　学位授与基準･論文審査基準

第８条　　医学研究科の学位授与基準、論文審査基準は次の通り定める。
　１．医学研究科博士課程学位授与基準（修得すべき能力）
　　１）医学および医学と関連の深い生命科学領域の深い知識があり、研究を自立的に推進できること
　　２）研究者あるいは医師として社会の指導的立場を果たすための良識と科学・生命・医療に関わる倫理観を有すること
　　３）上記１）２）は学位論文の審査時に同時に、最終の試験あるいは学力の確認として判定される
　２．医学研究科博士課程学位論文審査基準
　　１）行われた研究が、指導教員の指導のもと自立して計画されたものであること。
　　２）行われた研究が、指導教員の指導のもと自立して遂行されたものであること。
　　３）研究成果を公刊する論文は査読システムのある科学誌であること。
　　４）行われた研究分野に関して造詣が深く、国際的視野の中でその研究の位置づけができること。
　　５）審査における「可」の判定には、主査ならびに委員全員の賛成を必要とする。
　　６）医学研究科教授会における「可」の判定には、出席した博士課程教員（D○合教員）の2/3以上の賛成を必要とする。

【東海大学大学院医学研究科学位申請並びに審査に関する内規】より抜粋

(2)申請資格

医学研究科博士課程において、３年以上在籍して所定の単位を修得し、４年次に在籍している者は５月以降学位論文を提出することができる。また、大学院学則第２０条に定めるところの「特に優れた研究業績」に該当すると考える者は、３年で課程を修了することができる。(早期学位申請制度）別途資格審査を行うので、３年次の７月受付期間以降、MSCO（教学ユニット）大学院担当に申し出ること。

※専攻医研修/大学院コースの者は、臨床助手２種の任用期間が４年間であるため、早期学位申請制度は対象外となります。

＜参考＞

・単位取得満期退学（４年以上在籍し、必要な研究指導をうけ、所定の単位を修得して退学）した場合は、退学以前の専攻に再入学（論文再入学と称する）した後に学位申請をする。ただし、退学後４年以内（２００８年４月１日入学者から）に大学院運営委員会で学位論文が受理された場合に限り、課程博士（甲）とする。

・前文の「論文再入学」とは、つぎの項のすべてに該当する場合を指す。ただし、論文再入学後、在学できる年数は、満期退学するまでの在学年数と通算して８年以内とする。また、学費については特例を定める（再入学後１年間の学費は免除する)。

①論文再入学は、再入学後１年以内に学位論文が大学院運営委員会で受理される可能性が大きい、と研究科長が認めた場合に限り、入学できる。

②退学後４年以内に当該研究科専攻の最高年次に再入学し、１学期以上在学すること。なお、再入学の日付は春学期開始日又は秋学期開始日とする。

※手続きは、４月１日付：２月末まで，９月１日付：８月２５日まで（但し日曜・祝祭日となる場合は休前日）までに再入学願ならびに学位申請までの指導計画書(指定用紙は伊勢原教学課窓口にて配付)を提出すること。提出後、研究科長または専攻長との面談を行なう。

(3)申請受付と受理･判定までの流れ

学位論文の受付は、MSCO（教学ユニット）窓口にて行う。受付期間は原則、**毎月１日から７日。**
詳しくは次の表のとおりである。なお、７日が日曜・祝祭日、の場合は休前日までの受付とする。

学位の授与は年２回となっているが、審査にはおよそ６ヶ月程度を必要とするため、**当該年度の３月末で学位を授与されるためには、１０月までに学位申請をする必要がある。**１０月までに学位申請ができず、１１月～３月に受付を行った場合は、最短でも次年度の９月学位授与となる（下記「２．申請受付と受理・判定までの流れ」を参照)。１１月以降に学位申請する場合は、手続きをMSCO（教学ユニット）大学院担当へ確認すること。

論文申請月	受付期間	学位授与月 （予定）
４月	１～７日 （※注１）	２０２２年９月
５～１０月		２０２３年３月
１１月	４日（金）～７日（月） （※注２）	２０２３年９月
１２月	１１/２１（月）～１１/２５（金） （※注３）	
１月	６日（金）・７日（土） （※注４、※注５）	
２月	１～７日 （※注１、※注５）	
３月		

注１：休祝日除く（７日が休日の場合、休前日まで）
注２：建学記念日、建学祭、休祝日除く　注３：１２月教授会開催日による
注４：年末年始休業による
注５：４年次生について、１月までの学位申請は、満期退学及び論文再入学の学籍異動なし
２月以降に学位申請をする場合は、満期退学ののち論文再入学の手続きが必要

上表は、２０２２年度スケジュールとなります。学年暦や審査の進行状況によって変更する場合あるので、掲示(１号館大学院掲示板)等でその都度確認をすること。

(4)申請書類について

次の書類を全て揃えたうえ、定められた提出期間に MSCO（教学ユニット）で受付を行うこと。所定様式の入手は下記を参照。

●論文再入学者の場合

医学研究科ホームページ（http://www.med.u-tokai.ac.jp/daigakuin/index.html）
トップ画面　大学院在学生向け→博士学位申請→課程博士

【学位申請時に必要な書類】

(1) 学位申請書　（１部）
(2) 履歴書　（１部）
(3) 論文目録　（１部）
(4) 論文の内容の要旨（ホチキス留め不要）　（１部）
(5) 学位論文の全文を公表できない場合の理由書　（１部）
(6)「学位申請書」「履歴書」「論文目録」「論文の内容の要旨」　（１部）
「学位論文の全文を公表できない場合の理由書」を保存したメディア
(CD-R、USB メモリ等、提出するデータは PDF ではなく Word にて)
(7) 学位論文〔正本〕　（６部）
添付①主要公刊論文別刷（１篇×６部）
添付②副公刊論文別刷（２篇×各６部）
※正本１部に綴じ込む篇数である。正本は簡易製本が６部必要であるため、添付①は６部、添付②は２篇×各６部を準備すること。別刷りが足りない場合はコピー可。
(8)学位論文の要約（紙に出力してホチキス等で留めて提出すること）　（６部）
※(4)「論文の内容の要旨」とは異なるもの
(9)確認書（共著者用）　（各１部）
(10)確認書（論文の著作権を有する団体用）またはそれに代わるもの　（各１部）
(11)掲載受理証明の写し　※論文が未公刊の場合のみ　（１部）
(12)医学研究科学位論文　確認書（学位論文プレチェックのチェックリスト）　（１部）
(13)医学研究等に係る利益相反自己申告書（学位論文申請用）　（１部）

学位論文審査委員会後に 伊勢原図書館へ 提出する書類：

［1］学位論文の「全文」ＰＤＦファイル
［2］学位論文の「要約」ＰＤＦファイル
［3］東海大学機関リポジトリ登録申請書

前述の書類は(6)(11)(12)[1][2][3]を除き、すべてＡ４判縦長の用紙を使用し、ワープロ文字で作成すること。また、上記の書類のほか、審査上必要な資料の提出を求める場合がある。

(5)学位論文審査および試験について

提出された論文は、総長より指名された審査委員により審査される。
審査日時・場所については学位論文が受理された後、医学研究科長名にて通知する。
研究発表は１５分程度で行い､質疑応答および学位論文に関連のある専門分野についての試験を約４５分行う（計６０分程度)。

(6)学位論文

医学研究科の学位論文は下記“学位論文作成上の注意”を参照のこと。

～学位論文作成上の注意～

・本研究科の「学位論文」は、**主要公刊論文を基に新たに作成した論文を指す。**公刊論文を和訳しただけのもの、図表を公刊論文からそのまま引用しただけのものは認めない。学位論文を提出する前に、指導教員に確認してもらい、「医学研究科学位論文　確認書」に指導教員の署名・捺印・コメント記入の上、提出すること。

以下二部で構成されたものを学位論文として取り扱う。第一部の学位論文と第二部の別刷を一冊の簡易製本にして提出するものとする。

＜第一部＞　学位論文

申請者が編集した“学位論文”（以下、学位論文）は日本語・英語のいずれかで作成すること。
下記の１～７までを日本語は 10,000 字、英語は 4,000 ワード以上で作成する。ただし、図表は文字数に含まない。作成にあたり、学位論文は自身が筆頭著者である主たる公刊論文(主要公刊論文)を中心に作成する。

１．総括（Summary）
２．研究の背景（Background and Introduction）
３．研究方法（Materials and Methods）
４．結果（Results）
５．考察と展望（Discussion）
６．結論（Conclusion）
７．謝辞（Acknowledgments）
８．表図
９．表と図の説明
10．参考文献（References）

＜第二部＞　別刷

別刷を全部合わせて**３篇**綴じる。ただし、未公刊論文で掲載予定の場合は、その原稿を綴じる。

１．主要公刊論文→１篇　別刷　１部
学位論文(正本)を作成するベースとなった公刊論文(掲載受理証明付の未公刊論文はその原稿)で、学位申請者が筆頭著者であること。
◇主要公刊論文の選定基準
(1) 査読制度を有する学術雑誌に掲載されたものであること。ただし、掲載予定が確認されており、学位申請時に掲載受理証明書がある場合の申請も可とする。
(2) 書式は英文が望ましい。単著・共著のいずれも可とする。
(3) 一般にいう論文形式を執り、原著論文（査読あり、症例報告も含む）であること。
※総説、学会記録、班会議、商業ベースの医学雑誌は含まれない。

(4) 共著の場合は次の２つの条件を必要とする。
①申請者が筆頭著者であること。
②申請者が学位を申請することに共著者の同意があり、共著者が同論文による学位申請を行わない旨を記した確認書があること。

２．副公刊論文→２篇　　別刷　各１部
◇副公刊論文選定の条件
上記「公刊論文の選定基準」の（1）～（3）を満たしていること。

※学位論文、主要公刊論文、副公刊論文のいずれも選定は研究指導教員と十分協議の上、製本すること。
※主要公刊論文が２篇以上、副公刊論文が３篇以上ある場合も同様に製本をする。

(7)申請書類作成上の注意事項

1)学位申請書

①氏名は、通称等は使用しないこと（学位記は申請書類の氏名どおりに記載される)。
なお、外国籍の場合は英語で氏名を記入し、カッコ（　）でふりがなを記載する。
②論文再入学者も氏名の上に現在の専攻名「医学研究科　先端医科学専攻」と記入すること。
③学位論文題目が英文の場合、題目の下にカッコ（　）で和訳を記載すること。
④申請書内の「論文の内容の要旨と学位論文（全文・要約）をインターネット上で公表する」の選択箇所は「要約」に○をつけること。(医学研究科においては、東海大学機関リポジトリには学位授与後５年間、学位論文の要約を公開するため)
⑤日付は学位申請受付日とする。

2)履歴書

(1)学歴欄記載事項について
①学歴は高等学校卒業から最終学歴まで記入すること。なお、「見込み」は記入しない。
②既に博士の学位を有する者は、学位授与年月・授与大学院名・学位の種類を記入すること。
③医師免許証を有する者は、医師国家試験合格年月・医籍登録番号を記入すること。
(2)職歴欄記載事項について
①すべての職歴を記入し、異動年月日・職名（身分）を明記すること。
②職歴がない場合には、“職歴なし”と記載すること。
③出向歴も記載すること。ただし、付属病院勤務地変更の場合は省略しても良い。
④採用または就任、修了または退職が対になるように記入する。異動や身分変更も記入すること。
⑤専攻医研修／／大学院コース出身者は「臨床助手二種」と明記すること。
(3)研究歴欄記載事項について
①大学卒業以降～申請日までの研究歴をすべて記入すること。(※大学院在籍時の研究歴を含む)
②研究歴をすべて書ききれない場合、学位論文と関連するものを記載すること。
③「現在に至る」研究を記載すること。
(4)その他
①学歴・職歴を通じて空白期間のある場合は、説明を付記してもよい。
②日付は、学位申請書の日付と統一すること。
③履歴書に記載した住所は原則日本国内とする（学位授与式通知の発送先となる)。学位授与までに現住所に変更が生じた場合、速やかに教学課へ申し出て、変更の手続きをとること。

3)論文目録

①「論文等一覧表」には、**主要公刊論文（１篇)、副公刊論文（２篇）**について記載すること。
論文は掲載年月の降順（新しい論文順）に列記し、主要公刊論文の番号に○をつけること。
②「論文等の種類」には、出版物が掲載された雑誌等の種類を選択し、○をつけること。
③「論文等の題目」には、**論文の題目を大文字・小文字等まで正確に記入すること。**
④「掲載誌名」には、論文が掲載された（または掲載予定の）学術誌・学会誌を**正式名称**で、大文字・小文字まで正確に記載すること。略称は使用しないこと。
⑤「発行年・巻・号・頁」には、公表されている情報をすべて省略せずに記入すること。発行年について、学位申請時点でまだ掲載されていない、または掲載年月が未定の場合はその予定年月を西暦で記載し、「○○年○月（公表予定)」、「in press（○○年○月公表予定)」、「○○年 accepted」などと記入をし、申請書類作成時までに公開されている情報を記載すること。

⑥共著の場合は、学位申請者を除いた共著者全員の氏名を掲載順・掲載されている表記どおりにフルネームで「備考（共著者)」欄に記載すること。
⑦投稿中のもので採録決定済みであれば、その旨明記して含ませ、同時に掲載受理証明を添付し提出すること。
⑧日付は学位申請書と同じ日付にすること。

4）論文の内容の要旨

①論文の内容の要旨はWordで作成し、左右の余白は３ｃｍ程度設けること。
②日本語にて平易かつ明快な表現で、２ページ程度（2000字～3000字）でまとめること。
③学位論文題目が英語の場合は、題目の下に（　）で日本語訳を付記すること。
④本文の最初にキーワード（５語・本文中より挙げる）を入れること。
⑤フォントのサイズは　論文題目・氏名：１２ｐｔ、キーワード・本文：１０．５ｐｔとすること。
⑥内容構成は「背景」「目的」「方法」「結果」「考察」「結論」等でまとめるとよい。

5）学位論文の全文を公表できない場合の理由書

①医学研究科では、著作権保護、個人情報保護、守秘義務等の理由により学位授与後５年間は東海大学機関リポジトリには学位論文の要約を掲載するため、その旨明記し、必ず提出をすること。
②学位論文題目が英文の場合、題目の下にカッコ（　）で和訳を入れること。
③日付は、学位申請書の日付と統一すること。

※学位申請書・履歴書・論文目録・論文の内容の要旨・リポジトリに全文公表できない場合の理由書のデータ（Word）はメディア（CD-R、USBメモリ等）に保存し、論文申請時に提出する。
（メディアの返却を希望する場合は申請時に申し出ること。）

6）学位論文〔簡易製本〕

審査用６部（簡易製本）を作成する。詳細はすでに前述してある「５．学位論文」のとおりである。ここではその体裁についてのみ記す。

◇学位論文〔簡易製本〕の作成について

1)用紙はＡ４判上質紙を使用することが望ましい。色の付いた再生紙は控えること。
2)ページ総数３０枚程度が理想であるが、学位論文は下記のフォームで作成した場合、１万字で約１４枚前後の計算となる。その他、参考文献ページや図表ページが入り、さらに後方には主要公刊論文１篇および副公刊論文２篇が綴じられるため、厚みは十分である。
3)写真はオリジナルプリントを使用すること。図・表・グラフは鮮明であればコピーでも可。
4)本文には最初から最後まで頁（下部中央）をふり、片面印刷とすること。
5)学位論文ページの体裁（フォーム）※目安

日本語で作成する場合

＜総括～研究の背景～研究方法～結果～考察と展望～結論～謝辞まで＞

a)用紙：Ａ４縦型横書き
b)フォント：１４ｐｔ
c)余白：上下３０㎜、左３０㎜、右２５㎜
d)１行中の文字数：３０文字
e)１ページの行数：２５行
上記で７５０文字、合計１万字以上なので、１４枚弱
※ 英語の場合は、内容は同様に総括～研究の背景～研究方法～結果～考察と展望～結論～謝辞を含まなければならないが、体裁のb)、ｄ）、e)については自由とする。

＜表と図＞

表と図は別紙にして説明し、本文の後ろに綴じること。

＜参考文献＞

参考文献のページは、下記のようなフォームを目安とし作成すること。

a) 用紙:A4盾形横書き
b)フォント１１ｐｔ
c)余白：上下３０㎜、左３０㎜、右２５㎜
d)１行中の全角文字数：３５文字（英文は文字数の指定なし）
e)公刊論文も文献の１つとして入れる。
f)１ページの行数：３５行

上記で1，２２５文字、最低文字数指定なし。但し、次の内容について記載してあれば順序はよい。
①著者（全員）②論文タイトル③Journal名（決められた省略形、例えばTokai Journal of Experimental and Clinical Medicine→Tokai J Exp Clin Med）④発行年⑤Vol: pp-pp

《記入例》

Hotta T, Makuuchi H, Osamura Y, Tokai T, Bohsei H. Critical review concerning future medical policy in Japan. Tokai J Exp Clin Med 2010, 40: 100-115

◇製本方法について

学位論文と論文目録に記載をした主要公刊論文・副公刊論文のすべてを１冊にまとめたものを〔正本〕として取り扱い、学位申請書類として提出時に簡易製本６部を要求される。

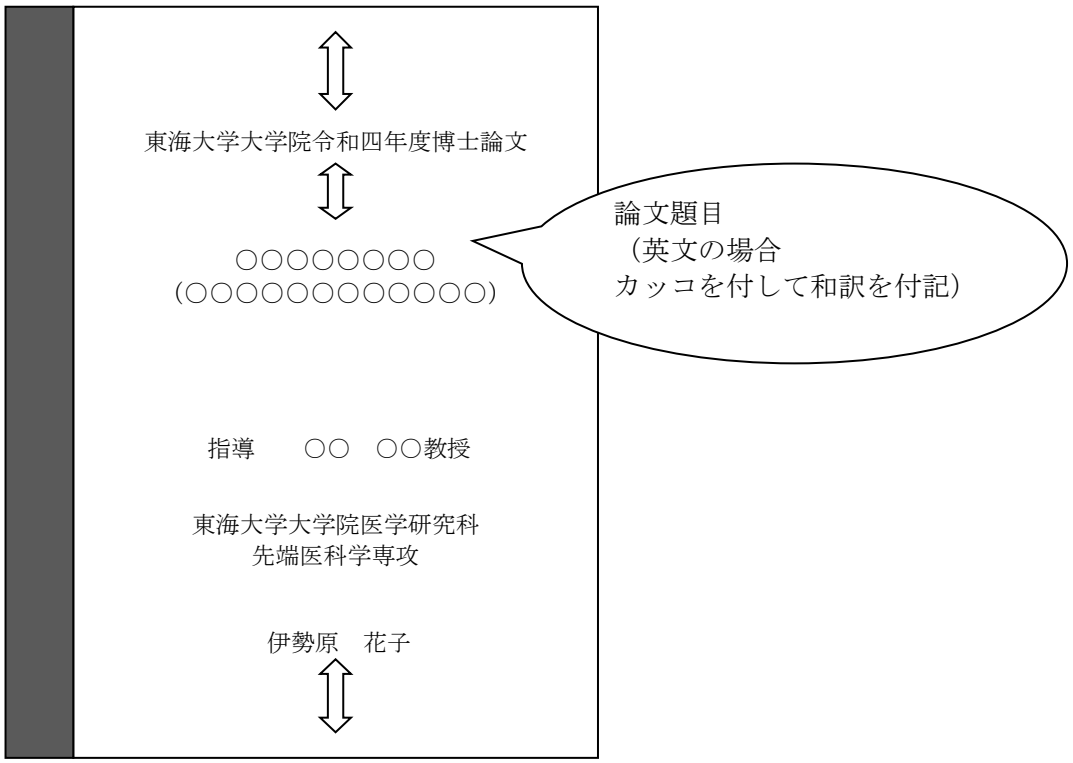
(注1)これから掲載予定の主要公刊論文・副公刊論文で別刷のない場合は、Ａ４用紙に書かれた原稿を綴じること。これについては、文字数・行間等の指定はしない。

1) 簡易製本は申請者が作成し、冊子としてまとめたものを提出する（学位論文審査委員会委員にそのまま送付する)。
2) 論文を綴じる順番は**《学位論文→主要公刊論文→副公刊論文（新しい順（「論文目録」番号順)》**とする。
3) 表紙を付け、左綴じにすること。なお、フォントは明朝体、フォントサイズは（　）内の数字のとおりとし、体裁は次ページの図を参照すること。

《表紙に記載する内容》

・年度タイトル（１８ｐｔ）
・学位論文題目（２２ｐｔ）
・指導教員名（１６ｐｔ）
・所属研究科専攻名（１４ｐｔ）
・氏名（１６ｐｔ）

《表紙》



提出の時点において、学位論文の作成条件や主要公刊論文・副公刊論文の選定基準を満たしていない場合は、受付けない場合もある。または、修正を求められることも十分有り得るため、製本を行なう前には必ず提出する一切の書類、論文等を研究指導教員に確認を取った上で製本を行なうよう留意する。

(8)学位論文の要約

学位論文を下記の方法で作成し、学位申請時に紙に出力してホチキス等で留めたものを６部提出すること。なお、東海大学機関リポジトリへの登録にあたり、学位論文審査委員会の審査対象とする。(公開されるものは審査を経るべきである)

参考資料：東海大学学位規程　抜粋
（論文の内容の要旨等の公表）
第１６条　本学は，第５条第１項及び第２項の規定により博士の学位を授与したときは，学位を授与した日から３か月以内に，その論文の内容の要旨及び審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。
第１７条　第５条第１項及び第２項の規定により博士の学位を授与された者は，当該博士の学位を授与された日から１年以内に，当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。ただし，当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは，この限りでない。
２　第１項の規定にかかわらず，博士の学位を授与された者は，やむを得ない事由がある場合には，大学院運営委員会の承認を受けて，当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において，本学は，その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。なお，やむを得ない事由とは，次の各号に該当する場合とする。また，「やむを得ない事由」が無くなった場合には，当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。
(１)　学位論文が立体形状による表現を含む場合
(２)　著作権保護，個人情報保護，守秘義務等の理由による場合
(３)　出版刊行，多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載の場合
(４)　特許の申請に関する場合
(５)　その他，大学院運営委員長が認めた場合

※学位論文の要約については、文部科学省より次のとおり説明されている。
「課題設定、方法論、実験・解析、結論・考察など、当該論文の全体がわかる形で、その内容が要約されたものを指し、内容の要旨（アブストラクト）とは異なります」

◇医学研究科　学位論文の要約作成方法

１．次の部分のみ抜粋する。

①論文タイトルページ　※P33 で作成した表紙。必ず付けること。
②Summary（総括）
③Introduction
④Discussion（考察と展望）
⑤Conclusion（結論）

注１）Reference は載せない。文中の文献番号も削除すること。
注２）図表は載せない。

２．学位本文の冒頭に以下の文章を載せる。

〔論文が英語の場合〕
・This doctoral thesis was written on the basis of the original article published in “the name of journal”.
・I got permissions for the submission of the doctoral thesis to the institutional repository of Tokai University, in addition to reuse of part of my article in my doctoral thesis.

[論文が日本語の場合]
・この学位論文は、xx に掲載された主要公刊論文を基に作成された。
・ xx に掲載された主要公刊論文の一部を学位論文に用いることに加えて、学位論文を機関リポジトリ［電子書庫システム］で公開することの承諾を得ている。

(9)確認書

＜共通事項＞

①**確認書は必ず原本を提出すること。複写したもの、PDF 等で出力・印刷したものは不可。**

②日付は西暦で記入し、出来る限り近々のもの（書類提出日より３ヶ月以内）であること。

③論文題目は、論文目録の「論文等一覧表」で〇をつけた主要公刊論文の「論文等の題目」・「掲載誌名（正式名称)」・「発行年・巻（Vol.）・号（No.）・頁（pp.）等」・「Web サイト等で公表の場合 URL･DOI 等」と同じ表記で正確に付記すること。

※表記に不備・誤りがあった場合、再度共著者全員に署名・捺印をいただく場合も考えられるため、事前に MSCO（教学ユニット）大学院担当へ確認をすることを推奨する。

＜共著者用＞

① 主要公刊論文に共著者がいる場合は<u>共著者全員</u>に依頼し、提出すること。(共著者の自筆署名が必須)

② 外国人の共著者には英文版の確認書（Notification）で依頼すること。現住所は個人の住所とする。

③ “所属機関”と“職名”については略さず正式な名称を用い、本人の直筆が望ましいが予めワープロ文字で記載してもよい。なお、確認書作成時点で無所属の場合は「元〇〇研究所勤務」等と記載すること。

※本学の専任教員で他へ出向している場合、本学での身分を記載する。

※大学院学生については“所属機関”に該当するのは在籍研究科・専攻とする。“職名”については“大学院生”と記載する。ただし、専攻医研修／大学院コースに在籍している者については、“所属機関”に「東海大学医学部付属病院」・“職名”に「臨床助手２種」と記載をする。

(10) 確認書（論文の著作権を有する団体用）

＜団体用＞

<u>主要公刊論文の著作権の所有者を確認し、</u>

①**団体（出版社または学会等）が著作権を所有する場合**は、団体用確認書を提出すること。

※団体用の確認書が提出できない場合、団体の担当者との確認書に記載されている合意事項についての確認やりとり（メール等）・確認書に代わる著作権に関する規約が明記されているものの写し等をあわせて提出すること。

②**著作権が本人にある場合、**団体の担当者との確認書記載の合意事項についての確認やりとり（メール等）・著作権を自身が所有することが確認できる書類の写し等をあわせて提出すること。

③**オープンアクセスである場合、**その旨明記されている書類の写し等を提出すること。

(11)掲載受理証明の写し ※論文が未公刊の場合のみ

①学位申請時に主要公刊論文または副公刊論文が未公刊の場合には、当該論文の掲載受理証明を提出すること。公刊予定日・巻・号・頁数まで記載されているものが望ましく、必ず審査委員長の署名または捺印がされていること（海外の学術誌も同様)。

②オンラインジャーナル等、掲載受理証明を発行しない出版社の場合は、アクセプト通知メールを印刷し、提出すること。メールには主要公刊論文の題目があり、掲載予定年月が表記されていること。

(12)医学研究科学位論文 確認書(学位論文プレチェックのチェックリスト)

指導教員に学位論文について各チェック項目を確認してもらい、指導教員の署名・捺印・コメント記入の上、学位申請時に提出をすること。

(13)医学研究等に係る利益相反自己申告書(学位論文申請用)

指導教員に利益相反自己申告書の内容について、各項目を確認してもらい、指導教員の署名（自筆）の上、学位申請時に提出をすること。

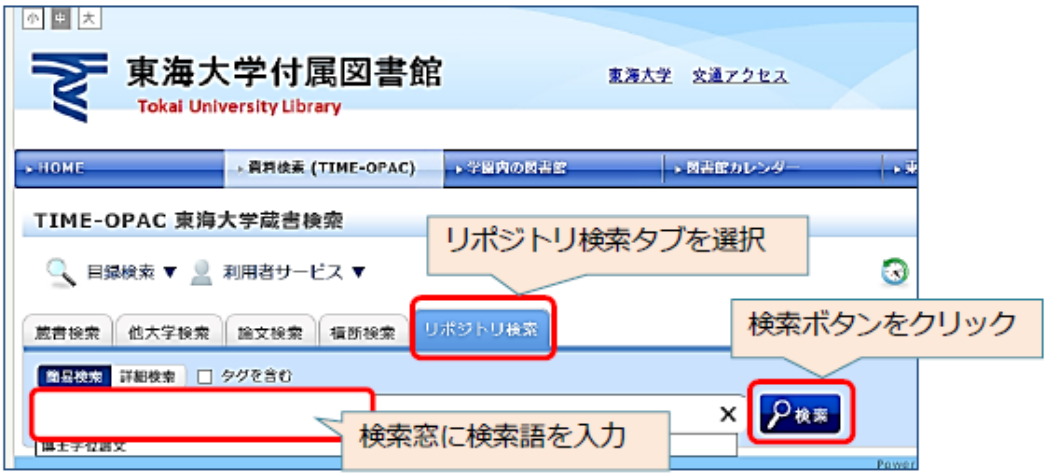
●以下、学位審査委員会後に提出するもの
※２月下旬ごろにMSCO（教学ユニット）大学院担当よりメールにて依頼予定

［1］学位論文の「全文」ＰＤＦファイル
［2］学位論文の「要約」ＰＤＦファイル
［3］東海大学機関リポジトリ登録申請書

提出方法：メール・郵送・来館の３種類から選択。

【参考資料】
東海大学機関リポジトリ[電子書庫システム]
学位論文は東海大学蔵書検索システム[TIME OPAC]で検索し閲覧することができます。

・検索語入力画面



検索後、該当の書士画面上にある「本文を見る」ボタンをクリックします。
上記は 2018 年 4 月現在の画面です。バージョンアップ等により、レイアウトが変わることがあります。

東海大学機関リポジトリに関するご質問・ご相談・お問合わせは
伊勢原図書館　0463-93-1121（内線 2161）

５.修士論文について

本研究科医科学専攻（修士課程）に在籍する者の修士論文作成の手続きは以下のとおりである。予め本書、申請書記入見本を熟読のうえ、修士論文を作成すること。

(1)医学研究科修士課程　学位授与基準･論文審査基準

第８条　　医学研究科の学位授与基準、論文審査基準は次の通り定める。
（中略）
３．医学研究科修士課程学位授与基準（修得すべき能力）
１）医学、生命科学ならびに必要とされる境界領域の深い知識があること。
２）研究者、専門家、職業人として、研究成果を社会に還元するための良識と科学・生命・医療に関する倫理観を有すること。
４．医学研究科修士課程学位論文審査基準
１）行われた研究が、指導教員の指導のもと自身の力で遂行されたものであること。
２）修士論文審査は修士論文の提出と修士論文発表会における研究成果発表よりなり、その評価は指導教員を除く大学院修士課程教員（M○合教員）によりなされる。
３）合格とする評価が全体の2/3以上の場合に修士の学位授与「可」とする。

【東海大学大学院医学研究科学位申請並びに審査に関する内規】より抜粋

(2)修士論文の作成について

東海大学医学研究科医科学専攻修士課程において、２年以上在学し所定の必修および選択科目を３０単位以上修得し､且つ必要な研究指導を受けたうえ､修士論文を作成し研究指導教員を通じて研究科長に提出する。

１）スケジュール

２０２２年　４月５日（火）	＜１・２年生＞春学期ガイダンス実施。
２０２２年　７月（予定）	＜１・２年生＞「教育研究活動評価票」提出。 （研究課題名、研究内容、学会・論文発表状況） 個別面談の実施。「教育研究活動評価票」に沿って行う。
２０２２年　９月１６日（金）	＜１・２年生＞秋学期ガイダンス実施。 修士論文発表会当日の発表時間などを告知する。
２０２２年１１月（予定）	＜２年生＞「教育研究活動評価票」提出。 （研究課題名、研究内容、学会・論文発表状況） 個別面談の実施。「教育研究活動評価票」に沿って修士論文進捗状況や進路について、面談教員へ報告する。
２０２３年　１月６日（金） ～１月７日（土）	＜２年生＞修士論文副本・抄録の提出。 ①副本 ②修士論文抄録 ③修士論文抄録データ 以上を MSCO（教学ユニット）窓口へ提出。締切日・時間厳守。
２０２３年　１月１０日（火） ～　１月１８日（水）	修士論文副本・抄録閲覧期間
２０２３年　１月１７日頃	＜２年生＞ 修士論文閲覧者の意見・感想を研究指導教員へフィードバック。
２０２３年　１月１８日（水）	＜１・２年生＞修士論文発表会リハーサル　実施。 プレゼンテーションの練習、１年生の補助説明等を行う。
２０２３年　１月１９日（木）	＜１・２年生＞修士論文発表会　実施。 大学院修士課程研究指導教員（M○合教員有資格者約１３５名）が参加し、修士論文の発表および質疑応答を行い、評価がなされる。 修士論文発表会終了後、１年生は中間発表を行い、教員から助言を得る。
２０２３年　１月３１日頃	＜２年生＞ 修士論文発表会評価者の意見・感想を研究指導教員へフィードバック。
２０２３年　２月６日（月）・ ２月８日（水）	④修士論文正本 を MSCO（教学ユニット）窓口へ提出。締切日・時間厳守。

２）提出物

①修士論文[副本]《コピー》：１部

修士論文閲覧用として使用する。※作成方法は下図を参照すること。

②修士論文抄録：１部

修士課程研究指導教員へ配付用として使用する。裏面に指導教員のサインをいただいてから提出すること。

※作成方法はP. 40 を参照すること。

③修士論文抄録のデータ（ＣＤ－ＲやＵＳＢなど）：１部

メディアの返却を希望する場合は、提出時に申し出ること。

④修士論文[正本]（簡易）：1 部

発表会終了後、修正加筆を含め作成し提出。最終版となる。※作成方法は下図を参照すること。

◆修士論文［副本・正本］作成上の目安

a)用紙　：Ａ４縦型横書き

b)フォント　：明朝体１１ポイント

c)余白　：上下左右３０㎜

d)１ページの行数　：３５行

e)文字数　：邦文４０，０００字　以内、英文１０，０００語　以内

１行中の全角文字数：３５文字（英文は文字数の指定なし）

f)図・表　：１５点　程度

g)参考文献　：３０編　程度

h)構成　：「要旨」「目次」「緒言」「材料・方法」「結果」「考察」「参考文献」「謝辞」「図表」

（チャプターの順序等、細かな点については、各自で適宜調整も可）

i)体裁　：修士論文［副本・正本］

１）論文に表紙をつける。

［副本・正本］　…　体裁は図のとおり。

※欧文の場合：論文題目を欧文で書き、題目の下に（ ）で日本語訳を記載すること。

２）年度表記和号で修了年度を表記する。

※２０２２年度修了予定生は『令和四年度』とする。

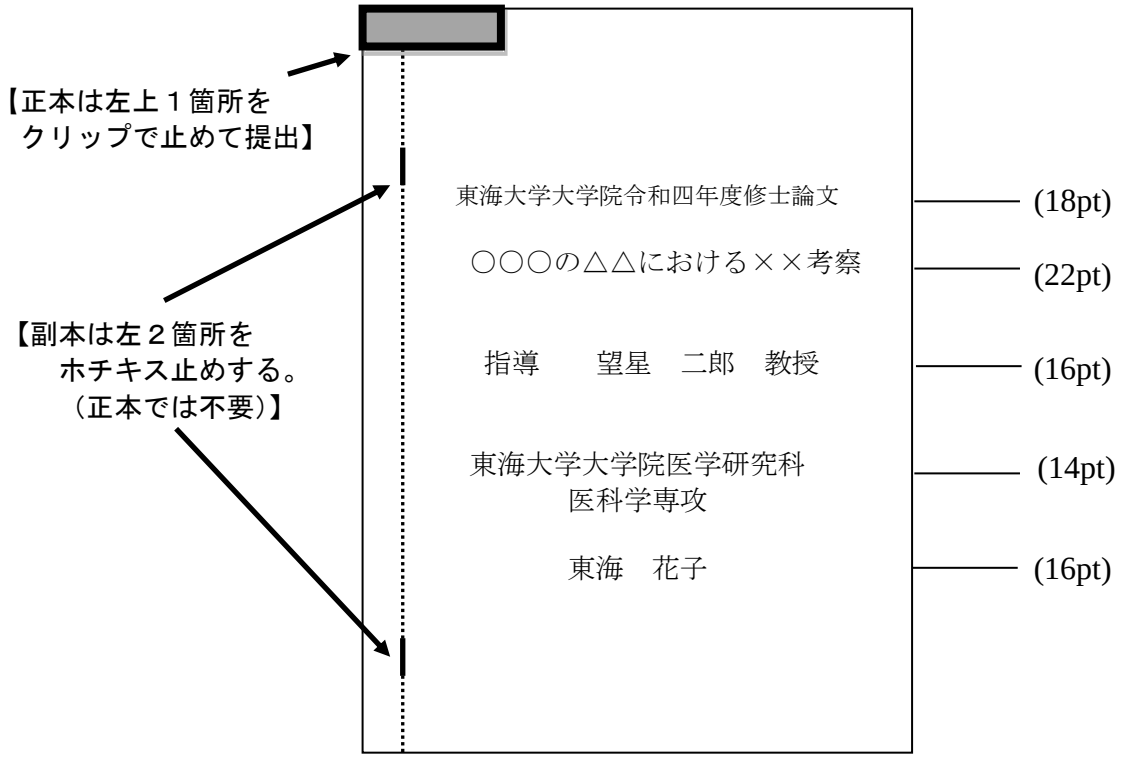
３）用紙はＡ４版　縦型を使用すること。

４）綴じ方は以下のとおりとする。

［副本］…　左２箇所をホチキス止めし製本する。閲覧用。

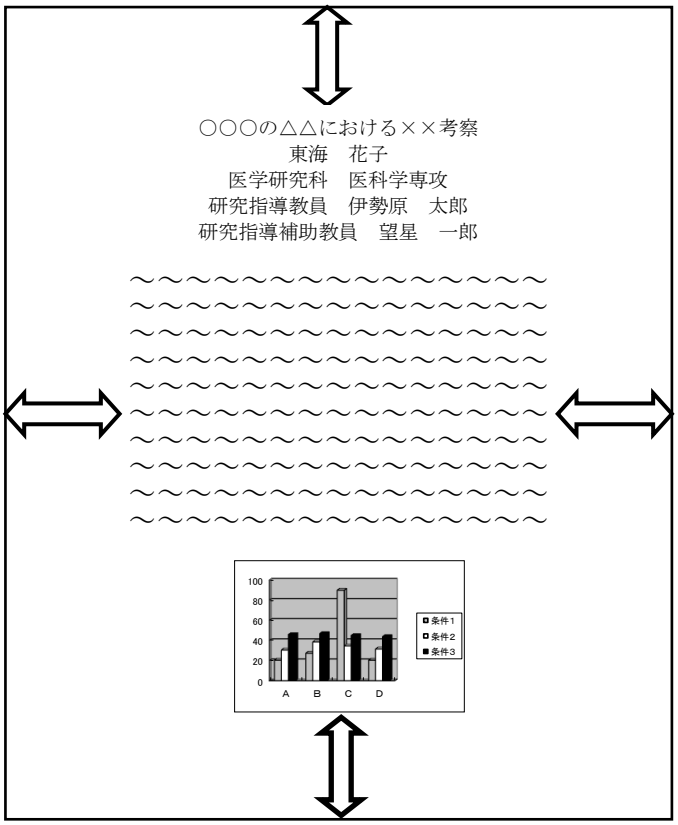
［正本］…　左上１箇所をクリップ止め。ホチキス不可。

※保存用としてMSCO（教学ユニット）大学院担当で製本する。



◆修士論文［抄録］作成上の目安

a)用紙　：Ａ４縦型横書き　１枚
b)フォントサイズ　：明朝体１０．５ポイント
c)余白　：上下左右３０㎜程度
d)上部に論文題目、氏名、研究科・専攻名、研究指導教員名（研究指導補助教員も含む）を記載する。



(3)修士論文発表会について

※詳細は秋学期ガイダンス、書面にてお知らせします。

１．修士論文発表会　リハーサル　【全員出席】
プレゼンテーションの練習、機材の説明や１年生による補助の打ち合わせ等を行います。
日　　時：２０２３年　１月１８日（水）　１０時～１７時
場　　所：１号館２階　講堂Ａ（予定）

２．修士論文発表会　【全員出席】
日　　時：２０２３年　１月１９日（木）１３時より開始
場　　所：１号館２階　講堂Ａ（予定）
発 表 順 ： 原則、学生証番号順
発表時間 ： 秋学期ガイダンス及び掲示板で発表。
＜参考：２０２１年度（７名発表）発表７分･質疑応答３分＞

※発表会終了後、１年生の中間発表会（発表時間５分）を行う予定。

2022年度　東海大学大学院医学研究科学年暦（伊勢原校舎）

※　秋学期の曜日振替について、1月27日（金）に水曜日の15回目を、1月31日（火）に木曜日の15回目を実施予定。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 Welcome Ceremony
3	4	5 新入生ガイダンス	6	7	8	9
10	11 ① 授業開始	12 ①	13 ①	14 ①	15 ①	16 ①
17	18 ②	19 ②	20 ②	21 ②	22 ②	23
24	25 ③	26 ③	27 ③	28 ③	29 (昭和の日)	30 ②

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1 ①②
2	3 ②	4 ②	5 ②	6 ②	7 ②	8
9	10 (ｽﾎﾟｰﾂの日)	11 ③	12 ③	13 ③	14 ③	15 ③④
16	17 ③	18 ④	19 ④	20 ④	21 ④	22
23	24 ④	25 ⑤	26 ⑤	27 ⑤	28 ⑤	29 ⑤⑥
30	31 建学祭準備のため休講					

1	2 休講	3 (憲法記念日)	4 (みどりの日)	5 (こどもの日)	6 ③	7 ③
8	9 ④	10 ④	11 ④	12 ④	13 ④	14
15	16 ⑤	17 ⑤	18 ⑤	19 ⑤	20 ⑤	21 ④
22	23 ⑥	24 ⑥	25 ⑥	26 ⑥	27 ⑥	28
29	30 ⑦	31 ⑦				

11月

		1 建学祭	2 建学祭	3 (文化の日) 建学祭	4 建学祭片付けのため休講	5 ⑦⑧
6	7 ⑤	8 ⑥	9 ⑥	10 ⑥	11 ⑥	12
13	14 ⑥	15 ⑦	16 ⑦	17 ⑦	18 ⑦	19 ⑨⑩
20	21 ⑦	22 ⑧	23 (勤労感謝の日)	24 ⑧	25 ⑧	26
27	28 ⑧	29 ⑨	30 ⑧			

			1 ⑦	2 ⑦	3 ⑦	4 ⑤
5	6 ⑧	7 ⑧	8 ⑧	9 ⑧	10 ⑧	11
12	13 ⑨	14 ⑨	15 ⑨	16 ⑨	17 ⑨	18 ⑥
19	20 ⑩	21 ⑩	22 ⑩	23 ⑩	24 ⑩	25
26	27 ⑪	28 ⑪	29 ⑪	30 ⑪		

12月

				1 ⑨	2 ⑨	3 ⑪⑫
4	5 ⑨	6 ⑩	7 ⑨	8 ⑩	9 ⑩	10
11	12 ⑩	13 ⑪	14 ⑩	15 ⑪	16 ⑪	17 ⑬⑭
18	19 ⑪	20 ⑫	21 ⑪	22 ⑫	23 ⑫	24 補講可能日
25	26 ⑫	27	28	29	30	31

					1 ⑪	2 ⑦
3	4 ⑫	5 ⑫	6 ⑫	7 ⑫	8 ⑫	9
10	11 ⑬	12 ⑬	13 ⑬	14 ⑬	15 ⑬	16 ⑧
17	18 (海の日)	19 ⑭	20 ⑭	21 ⑭	22 ⑭	23
24	25 ⑭	26 ⑮	27 ⑮	28 ⑮	29 ⑮	30 ⑨ 補講可能日
31						

2023
1月

1 (元日)	2 (振替休日)	3	4	5	6 ⑬	7 ⑮
8	9 (成人の日)	10 ⑬	11 ⑫	12 ⑬	13 ⑭	14
15	16 ⑬	17 ⑭	18 修士論文リハーサル	19 修士論文発表会	20 ⑮	21 補講可能日
22	23 ⑭	24 ⑮	25 ⑬	26 ⑭	27 ※水⑬ 補講可能日	28
29	30 ⑮	31 ※木⑬ 補講可能日				

	1 ⑮	2 夏期休暇開始	3	4	5	6
7	8	9	10	11 (山の日)	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2月

				1 ⑮	2 春期休暇開始	3	4
5	6 追試	7 追試	8	9	10	11 (建国記念の日)
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 (天皇誕生日)	24	25
26	27	28				

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15 夏期休暇終了	16 在学生ガイダンス	17
18	19 (敬老の日)	20	21	22	23 秋分の日	24 学位授与式 入学式
25	26 ① 授業開始	27 ①	28 ①	29 ①	30 ①	

3月

			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21 (春分の日)	22	23	24 学位授与式 博士・修士	25 学位授与式 学部
26	27	28	29	30	31 春期休暇終了	

東海大学　伊勢原校舎　メディカルサイエンスカレッジオフィス（教学ユニット）

住所　　〒２５９－１１９３　神奈川県伊勢原市下糟屋１４３
電話　　０４６３－９３－１１２１（大学院担当：内線４０２４）
Mail　　ikyougaku@tsc.u-tokai.ac.jp

受付時間　３号館１階（日曜、祝日、第２・４土曜は閉室）
平　日…９：００～１７：００
土曜日…９：００～１４：００
※夏期休暇期間、行事等によって受付時間が変更となる場合があります。